Canon

バーコードフォントガイド

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

はじめに

本書では、本プリンタで使用できるバーコードフォントの種類、印字方法、印字サンプル等を説明いたします。
正しくご使用いただくために、ご使用になる前に必ず本書をお読み下さい。

■ 注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは、禁止されています。
2. 本書の内容は、将来予告なしに変更する場合があります。
3. 本書の内容は、万全を期して制作しております。万一、ご不審な点や誤り、あるいは記載もれなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響につきましては、上記3.項にかかわらず、一切の責任を負いかねます。

■ 商標について

Ｃａｎｏｎ、Ｃａｎｏｎロゴ、ＬＩＰＳはキヤノン株式会社の商標です。
その他の各会社、各製品は各社の商標または登録商標です。

目次

１．　ご使用になる前に

ご注意

本プリンタは、以下のトランスレータでのみバーコード印刷にご使用になれます。
■ ＬＩＰＳトランスレータ
■ ＥＳＣ／Ｐトランスレータ
■ Ｉ５５７７トランスレータ
印刷されたバーコードは、紙の質やインクの濃度等の原因で全ての読み取り機では読み取れない場合がありますので、予めご了承下さい。

動作確認をした機種
■ バーコード検査装置　　　　ＣｏｄａＳｃａｎⅡ
■ ハンディターミナル　　　　ＳＴ－１００
　　　　　　　　　　　　　　ＨＴ－９７０

（1）バーコードの印字可能領域は、本プリンタの仕様上、用紙の端から上下左右5mmを除く領域です。詳細は「ユーザーズガイド」をご覧下さい。
（2）印字するバーコードのサイズによっては、バーコードフォントの仕様上、印字可能領域を外れて印字されない場合もあります。
（3）反射率の低い用紙（再生紙等）では、読み取り機での精度が悪化します。
そのような場合は、ドット幅を太くするか、反射率の高い用紙をご使用になることをおすすめします。
（4）本プリンタのインクの濃度によって、印刷されたバーコードの読み取り機で精度の変化が生じる場合があります。通常の場合、工場出荷時の設定で支障はありませんが、読み取り機の精度が悪く、（3）の調整を行った後でも、改善されない場合は、濃度調整を行うことで、読み取り機の精度が向上することがあります。

２．　文字セット

文字セットの種類

本プリンタの文字セットで印字出来るバーコードは、以下の4書体となります。
・ＣＯＤＥ３９
・ＮＷ－７
・ＪＡＮ（ＥＡＮ、ＵＰＣ）
・カスタマバーコード（郵便番号バーコード）

文字セットの選択

文字セットを選択するには、文字セット名称で選択して下さい。
詳細は、付録の文字セット名称一覧をご覧下さい。

☞ 初めて出力ソフトウェアを開発される場合には、プログラマーズマニュアルが必要です。
次の3種類が用意されています。
・プログラマーズマニュアル「ソフトウェア概説書4.2」（LIPSコマンドの概要を知るためのマニュアル）
・プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス4.2」（LIPSコマンドの手引き）
・プログラマーズマニュアル「クックブック4.2」（プログラムサンプル集）
※LIPS IVのプログラマーズマニュアルは、キヤノンホームページからダウンロードすることができます。

３．バーコードの印刷方法

ＣＯＤＥ３９、ＮＷ－７の印刷方法

1 ＬＩＰＳモード（スケーラブルフォント）での印刷方法

① 文字セット名称選択命令にて、印字するバーコードの文字セットを選択して本プリンタに送って下さい。

② バーコードデータを本プリンタに送る事によってバーコードの印刷ができます。

2 各エミュレーションモード（ドットフォント）での印刷方法

① 文字セット名称選択命令Ｉのコマンドを本プリンタに送る事によって印刷します。

（例）ＥＳＣ／Ｐエミュレーションモード時、文字セット名称“Ｃ３０６０．ＢＡＲ”でバーコードデータ ＊１２３４５＊を印刷する場合

ESC Ｉ [SP] ＿ ＿ ｆ C3060. BAR, 100, 000, 000, ＊12345＊

注意：ＬＩＰＳモードは、ＬＩＰＳⅢ又はＬＩＰＳⅣでご使用になれます。

ＬＩＰＳの詳細は、以下の2種類のプログラマーズマニュアルをご参照下さい。

・プログラマーズマニュアル「ソフトウェア概説書4.2」（LIPSコマンドの概要を知るためのマニュアル）

・プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス4.2」（LIPSコマンドの手引き）

※LIPS Ⅳのプログラマーズマニュアルは、キヤノンホームページからダウンロードすることができます。

ＣＯＤＥ３９の印刷サンプル例

ＬＩＰＳモードで、「＊１２３４５６７８９０＊」のＣＯＤＥ３９のバーコードを印刷する場合。（メインプログラムは巻末を参照）

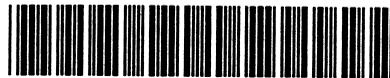
サンプルプログラム（ＶＣ＋＋）

```
//****************************************************************************
//
//      関数： OutPutStuff  （ HANDLE)
//
//      目的： PASSTHRUGH でプリンタに直接コマンドを送信する。
//
//****************************************************************************
void OutPutStuff  （ HANDLE hDC)   {

COM         Com；                                                    //Escape 出力構造体
short Count；                                                         // ﾙｰﾌﾟｶｳﾝﾀ
char  *TextMode    = "%¥x1E} p¥x1E"；                                // ﾋﾟｸﾁｬ終了＆ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ移行命令
char  *CrLf1       = "¥xD¥xA"；                                      // 改行命令
char  *CrLf2       = "¥x1B¥x4B"；                                    // 半改行
char  *MojiSet1    = "¥x1BPzBARcode39.BAR¥x1B¥¥"；                   // 文字ｾｯﾄ登録命令
char  *CodeNumbar  = "*1234567890*"；                                // ｺｰﾄﾞ番号
char  *KaiPage     = "¥xC"；                                         // 改ﾍﾟｰｼﾞ
char  *VectorMode  = "¥x1B [0&} ¥""；                                // ﾍﾞｸﾀﾓｰﾄﾞ移行命令
char  *TextStart   = "¥x1B%@"；                                      // ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ開始
char  *ShiftIn     = "¥xOF"；                                        // ｼﾌﾄｲﾝ
char  *MojiSize1   = "¥x1B [240 C"；                                 // 文字ｻｲｽﾞ指定
char  *SizeTani    = "¥x1B [2；300 I"；                              // 文字ｻｲｽﾞ単位指定
char  *MojiPicchi1= "¥x1B [?1428 K"；                                // 文字ﾋﾟｯﾁ指定

      lstrcpy （(LPSTR） &Com.com [0] ，  (LPCSTR） TextMode）；
      Com.l = strlen （TextMode）；
      Escape （hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR） &Com, NULL）；          // ﾋﾟｸﾁｬ終了＆ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ移行

      lstrcpy （(LPSTR） &Com.com [0] ，  (LPCSTR） TextStart）；
      Com.l = strlen （TextStart）；
      Escape （hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR） &Com, NULL）；          // ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ開始

      lstrcpy （(LPSTR） &Com.com [0] ，  (LPCSTR） ShiftIn）；
      Com.l = strlen （ShiftIn）；
      Escape （hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR） &Com, NULL）；          // ｼﾌﾄｲﾝ

      lstrcpy （(LPSTR） &Com.com [0] ，  (LPCSTR） MojiSet1）；
      Com.l = strlen （MojiSet1）；
      Escape （hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR） &Com, NULL）；          // 文字ｾｯﾄ登録

      lstrcpy （(LPSTR） &Com.com [0] ，  (LPCSTR） SizeTani）；
      Com.l = strlen （SizeTani）；
      Escape （hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR） &Com, NULL）；          // 文字ｻｲｽﾞ単位指定

      lstrcpy （(LPSTR） &Com.com [0] ，  (LPCSTR） MojiPicchi1）；
      Com.l = strlen （MojiPicchi1）；
      Escape （hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR） &Com, NULL）；          // 文字ﾋﾟｯﾁ指定

      lstrcpy （(LPSTR） &Com.com [0] ，  (LPCSTR） MojiSize1）；
      Com.l = strlen （MojiSize1）；
      Escape （hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR） &Com, NULL）；          // 文字ｻｲｽﾞ指定
```

```
    lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) CrLf1) ;
    Com.l = strlen (CrLf1) ;
    for  (Count = 0 ;  Count < 4 ;  Count++)   {                  //4 行改行
            Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;
    }

    lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) CodeNumbar) ;
    Com.l = strlen (CodeNumbar) ;
    Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //ｺｰﾄﾞ番号

    lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) CrLf1) ;
    Com.l = strlen (CrLf1) ;
    Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //改行

    lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) CrLf2) ;
    Com.l = strlen (CrLf2) ;
    Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //半改行

    lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) KaiPage) ;
    Com.l = strlen (KaiPage) ;
    Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //改ﾍﾟｰｼﾞ

    lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) VectorMode) ;
    Com.l = strlen (VectorMode) ;
    Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //ﾍﾞｸﾀﾓｰﾄﾞ移行
}
```

ＬＩＰＳモードで、「＊１２３４５６７８９０＊」のＣＯＤＥ３９のバーコードを印刷する場合。

<u>*サンプルプログラム（ＢＡＳＩＣ）*</u>

```
10  REM *****    ＣＯＤＥ３９  ＬＩＰＳモード  印刷    *****
20  LPRINT CHR$(&H1B);CHR$(&H25);CHR$(&H40);              'ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ開始
30                                                        'ｼﾞｮﾌﾞ開始命令
40  LPRINT CHR$(&H1B);CHR$(&H50);"31";CHR$(&H3B);"300";CHR$(&H3B);"1";CHR$(&H4A);CHR$(&H1B);CHR$(&H5C);
50  LPRINT CHR$(&H1B);CHR$(&H5B);"0";CHR$(&H22);"p";
60  LPRINT CHR$(&H1B);CHR$(&H3C);                         'ｿﾌﾄﾘｾｯﾄ
70  LPRINT CHR$(&H0F);                                    'ｼﾌﾄｲﾝ
80  LPRINT CHR$(&H1B);"PzBARcode39.BAR";CHR$(&H1B);"¥";  ' 文字ｾｯﾄ名称選択
90                                                        'ｻｲｽﾞ単位選択
100 LPRINT CHR$(&H1B);CHR$(&H5B);"2";CHR$(&H3B);"300";" I";
110 LPRINT CHR$(&H1B);CHR$(&H5B);"?1428";" K";            ' 文字ﾋﾟｯﾁ指定
120 LPRINT CHR$(&H1B);CHR$(&H5B);"240";" C";              ' 文字ｻｲｽﾞ指定
130 LPRINT CHR$(&HD);CHR$(&HA);                           ' 改行
140 LPRINT CHR$(&HD);CHR$(&HA);                           ' 改行
150 LPRINT CHR$(&HD);CHR$(&HA);                           ' 改行
160 LPRINT CHR$(&HD);CHR$(&HA);                           ' 改行
170 LPRINT "*1234567890*";                                'ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
180 LPRINT CHR$(&HD);CHR$(&HA);                           ' 改行
190 LPRINT CHR$(&H1B);CHR$(&H4B);                         ' 半改行
200 LPRINT CHR$(&HC);                                     ' 改ﾍﾟｰｼﾞ
210                                                       'ｼﾞｮﾌﾞ終了命令
220 LPRINT CHR$(&H1B);CHR$(&H50);CHR$(&H30);CHR$(&H4A);CHR$(&H1B);CHR$(&H5C);
230 END
```

ＥＳＣ／Ｐのエミュレーションモードで、３ドットモジュール、高さ１００ドットの「＊１２３４５６７８９０＊」のＣＯＤＥ３９のバーコードを印刷する場合。

サンプルプログラム（ＢＡＳＩＣ）

```
10  REM *****    ＣＯＤＥ３９  ＥＳＣ／Ｐエミュレーションモード  印刷    *****
20  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                        ' 改行
30  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                        ' 改行
40  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                        ' 改行
50  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                        ' 改行
60                                                                          ' 文字ｾｯﾄ名称選択 (印字)
70  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H7C) ; CHR$ (&H20) ; CHR$ (&H00) ; CHR$ (&H00) ; CHR$ (&H66) ;
"C3100.BAR,100,100,000,00012*1234567890*" ;
80  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                        ' 改行
90  LPRINT CHR$ (&HC) ;                                                     ' 改ﾍﾟｰｼﾞ
100 END
```

NW－７の印刷サンプル例

ＬＩＰＳモードで、「Ａ１２３４５６７８９０Ａ」のＮＷ－７のバーコードを印刷する場合。
（メインプログラムは巻末を参照）

サンプルプログラム（ＶＣ＋＋）

```
//****************************************************************************
//
//    関数： OutPutStuff  ( HANDLE)
//
//    目的： PASSTHRUGH でプリンタに直接コマンドを送信する。
//
//****************************************************************************
void OutPutStuff  ( HANDLE hDC)   {

COM         Com ;                                                    //Escape 出力構造体
short Count ;                                                        //ﾙｰﾌﾟｶｳﾝﾀ
char  *TextMode    = "%¥x1E} p¥x1E" ;                                //ﾋﾟｸﾁｬ終了＆ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ移行命令
char  *CrLf1       = "¥xD¥xA" ;                                      //改行命令
char  *CrLf2       = "¥x1B¥x4B" ;                                    //半改行
char  *MojiSet1    = "¥x1BPzBARnw7.BAR¥x1B¥¥" ;                      //文字ｾｯﾄ登録命令
char  *CodeNumbar  = "A1234567890A" ;                                //ｺｰﾄﾞ番号
char  *KaiPage     = "¥xC" ;                                         //改ﾍﾟｰｼﾞ
char  *VectorMode  = "¥x1B [0&} ¥"" ;                                //ﾍﾞｸﾀﾓｰﾄﾞ移行命令
char  *TextStart   = "¥x1B%@" ;                                      //ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ開始
char  *ShiftIn     = "¥x0F" ;                                        //ｼﾌﾄｲﾝ
char  *MojiSize1   = "¥x1B [240 C" ;                                 //文字ｻｲｽﾞ指定
char  *MojiSize2   = "¥x1B [100 C" ;                                 //文字ｻｲｽﾞ指定
char  *SizeTani    = "¥x1B [2 ; 300 I" ;                             //文字ｻｲｽﾞ単位指定
char  *MojiPicchi1= "¥x1B [?0 K" ;                                   //文字ﾋﾟｯﾁ指定
char  *MojiPicchi2= "¥x1B [?1000 K" ;                                //文字ﾋﾟｯﾁ指定

      lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) TextMode) ;
      Com.l = strlen (TextMode) ;
      Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;         //ﾋﾟｸﾁｬ終了＆ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ移行

      lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) TextStart) ;
      Com.l = strlen (TextStart) ;
      Escape (hDC, PASSTHROUGH,, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;        //ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ開始

      lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) ShiftIn) ;
      Com.l = strlen (ShiftIn) ;
      Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;         //ｼﾌﾄｲﾝ

      lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiSet1) ;
      Com.l = strlen (MojiSet1) ;
      Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;         //文字ｾｯﾄ登録

      lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) SizeTani) ;
      Com.l = strlen (SizeTani) ;
      Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;         //文字ｻｲｽﾞ単位指定

      lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiPicchi1) ;
      Com.l = strlen (MojiPicchi1) ;
      Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;         //文字ﾋﾟｯﾁ指定

      lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiSize1) ;
      Com.l = strlen (MojiSize1) ;
      Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;         //文字ｻｲｽﾞ指定
```

```
	lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) CrLf1) ;
	Com.l = strlen (CrLf1) ;
	for  (Count = 0 ;  Count < 4 ;  Count++)   {                              //4 行改行
		Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;
	}

	lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) CodeNumbar) ;
	Com.l = strlen (CodeNumbar) ;
	Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;                    //ｺｰﾄﾞ番号

	lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) CrLf1) ;
	Com.l = strlen (CrLf1) ;
	Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;                    //改行

	lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) CrLf2) ;
	Com.l = strlen (CrLf2) ;
	Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;                    //半改行

	lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) KaiPage) ;
	Com.l = strlen (KaiPage) ;
	Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;                    //改ﾍﾟｰｼﾞ

	lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) VectorMode) ;
	Com.l = strlen (VectorMode) ;
	Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;                    //ﾍﾞｸﾀﾓｰﾄﾞ移行
}
```

ＬＩＰＳモードで、「Ａ１２３４５６７８９０Ａ」のＮＷ－７のバーコードを印刷する場合。

サンプルプログラム（ＢＡＳＩＣ）

```
10  REM *****    ＮＷ－７　ＬＩＰＳモード　印刷    *****
20  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H25) ; CHR$ (&H40) ;                          ' ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ開始
30                                                                            ' ｼﾞｮﾌﾞ開始命令
40  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H50) ; "31" ; CHR$ (&H3B) ; "300" ; CHR$ (&H3B) ; "1" ; CHR$ (&H4A) ; CHR$ (&H1B) ;
CHR$ (&H5C) ;
50  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "0" ; CHR$ (&H22) ; "p" ;
60  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H3C) ;                                        ' ｿﾌﾄﾘｾｯﾄ
70  LPRINT CHR$ (&H0F) ;                                                      ' ｼﾌﾄｲﾝ
80  LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzBARnw7.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;                 ' 文字ｾｯﾄ名称選択
90                                                                            ' ｻｲｽﾞ単位選択
100 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "2" ; CHR$ (&H3B) ; "300" ; " I" ;
110 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "?0" ; " K" ;                          ' 文字ﾋﾟｯﾁ指定
120 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "240" ; " C" ;                         ' 文字ｻｲｽﾞ指定
130 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                          ' 改行
140 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                          ' 改行
150 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                          ' 改行
160 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                          ' 改行
170 LPRINT "A1234567890A" ;                                                   ' ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
180 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                          ' 改行
190 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ;                                        ' 半改行
200 LPRINT CHR$ (&HC) ;                                                       ' 改ﾍﾟｰｼﾞ
210                                                                           ' ｼﾞｮﾌﾞ終了命令
220 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H50) ; CHR$ (&H30) ; CHR$ (&H4A) ; CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5C) ;
230 END
```

ＥＳＣ／Ｐのエミュレーションモードで、３ドットモジュール、高さ１００ドットの「Ａ１２３４５６７８９０Ａ」のＮＷ－７のバーコードを印刷する場合。

サンプルプログラム（ＢＡＳＩＣ）

```
10  REM *****    ＮＷ－７  ＥＳＣ／Ｐエミュレーションモード  印刷    *****
20  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                  ' 改行
30  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                  ' 改行
40  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                  ' 改行
50  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                  ' 改行
60                                                                    ' 文字ｾｯﾄ名称選択 (印字)
70  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H7C) ; CHR$ (&H20) ; CHR$ (&H00) ; CHR$ (&H00) ; CHR$ (&H66) ;
"N3100.BAR,100,100,000,00012A1234567890A" ;
80  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                  ' 改行
90  LPRINT CHR$ (&HC) ;                                               ' 改ﾍﾟｰｼﾞ
100 END
```

ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣの印刷方法

ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣのバーコードを印字する為には、ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣそれぞれの仕様にあったバーコードフォントの文字セットを選択してバーコードを印刷します。

本プリンタは、ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣ用のバーコードの文字セットが内蔵されていますので、バーコードの仕様にあわせた文字セットを選択する事で、確実にバーコードが印刷できます。（文字セットの切り換えによる印字）

さらに、印刷するバーコードの文字コードを本プリンタ用の文字コードに置き換える事によって１つの文字セットだけで印刷する事もできます。（文字コードの置き換えによる印字）

文字コードの置き換えによる印字の方が文字セットの切り換えによる印字よりも制御コマンドを少なくして印字できます。

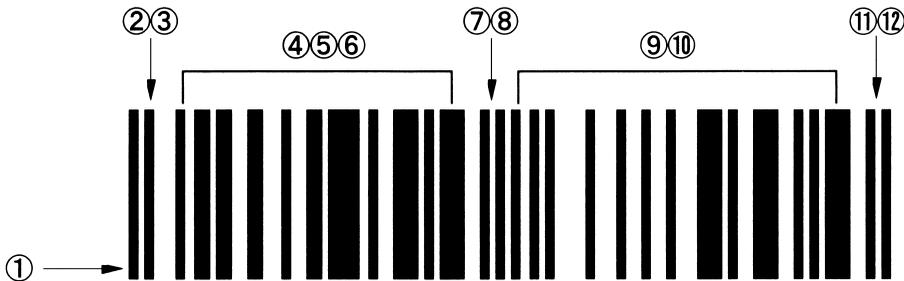
特にエミュレーションモードで印字する場合には、制御の方法がより簡単に行う事ができます。

尚、ＬＩＰＳモードとエミュレーションモードでは、同じバーコードを印刷する場合でも、印刷する為の制御方法が異なりますのでご注意下さい。

1 文字セットの切り換えによる印刷方法

ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣコードのデータキャラクタは０～９までですが、それぞれのデータパターンＡ～Ｄ（１５ページ参照）にしたがって、文字セットを切り換える必要があります。これは、データパターンが異なる場合、同じコードでもバーコードのデザインが違うためです。たとえばＪＡＮ８桁は、１桁目（パターンＡ）の位置での“０”と５桁目（パターンＣ）の位置での“０”とでは、バーコードデザインが異なります。
以下の方法は、それぞれのデータパターンＡ～Ｄに該当する文字セットを切り換えながら印字します。

1-1 ＬＩＰＳモードでの印刷方法

以下の手順で本プリンタに送る事によって印刷できます。

①	印字開始位置ＣＡＰの設定（行桁モードにて、ＣＡＰの移動を行います。 または、サイズ単位モード設定、サイズ単位の選択、垂直水平絶対位置移動命令等のサイズ単位モードにてＣＡＰの移動を行います。）
②	ガードバー用の文字セット（ＢＡＲｊａｎ－Ｄ．ＢＡＲ）を文字セット名称選択命令にて選択します。
③	“Ｌ”の文字を送ります。
④	左側のデータキャラクタパターン用の文字セット（ＢＡＲｊａｎ－Ａ．ＢＡＲまたはＢＡＲｊａｎ－Ｂ．ＢＡＲ）を文字セット名称選択命令にて選択します。
⑤	左側のデータキャラクタを送ります。
⑥	④⑤の組み合わせで左側のデータキャラクタパターンを印刷します。
⑦	ガードバー用の文字セットを文字セット名称選択命令にて選択します。
⑧	“Ｍ”の文字を送ります。
⑨	右側のデータキャラクタパターンの文字セットを文字セット名称選択命令にて選択します。
⑩	右側のデータキャラクタを送ります。
⑪	ガードバー用の文字セットを文字セット名称選択命令にて選択します。
⑫	“Ｒ”の文字を送ります。（ＵＰＣ短縮バージョンの場合、“Ｅ”を送ります。）

1-2 各エミュレーションモードでの印刷

次の手順で、本プリンタにコマンドを送る事によって印刷できます。

補足：②のコマンド体系にて、ＬＩＰＳの命令を本プリンタに送ります。
ＬＩＰＳの命令は、ＬＩＰＳモードでの印刷方法をご参照下さい。

①	ＬＩＰＳモードのユーザーページ登録開始命令
②	イメージデータ転送命令　＋　ＬＩＰＳ命令
③	ＬＩＰＳモードのユーザーページ登録終了命令
④	ユーザーページ、オーバーレイ印字開始命令

④のコマンドの後、印字データを本プリンタに送る事によってバーコードが印刷されます。

注意：エミュレーションモードで印刷する場合には必ずバーコードフォントを印刷するページの先頭で行って下さい。（ページの途中で印刷する事はできません。）また、１ページに複数個のバーコードを印刷する場合には②のイメージデータ転送命令＋ＬＩＰＳ命令で印刷する位置にＣＡＰを移動してバーコードの印刷を行って下さい。
イメージデータの転送命令のパラメータのバイト数は必ずＬＩＰＳ命令のコマンドのバイト数を指定して下さい。
バイト数の指定が誤っている場合には、正常にバーコードが印刷できなくなります。
エミュレーションモードのコマンド（ＬＩＰＳモードのユーザーページ登録開始、終了命令、イメージデータの転送命令、ユーザーページオーバーレイ印字開始等）の詳細は各エミュレーションモードの取扱説明書をご参照下さい。
ＬＩＰＳの詳細は、以下の2種類のプログラマーズマニュアルをご参照下さい。

・プログラマーズマニュアル「ソフトウェア概説書4.2」（LIPSコマンドの概要を知るためのマニュアル）
・プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス4.2」（LIPSコマンドの手引き）

※LIPS IVのプログラマーズマニュアルは、キヤノンホームページからダウンロードすることができます。

ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣ印刷の文字セットの切り換えは、以下の組み合わせになります。

ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣ標準バージョン（１３桁）の場合

先頭１桁	文字セットの切り換えパターン	
0	DAAAAAADCCCCCCD	
1	DAABABBDCCCCCCD	・・・UPC コード
2	DAABBABDCCCCCCD	
3	DAABBBADCCCCCCD	
4	DABAABBDCCCCCCD	・・・JAN コード
5	DABBAABDCCCCCCD	
6	DABBBAADCCCCCCD	
7	DABABABDCCCCCCD	
8	DABABBADCCCCCCD	
9	DABBABADCCCCCCD	

ＪＡＮ、ＥＡＮ短縮バージョン（8桁）の場合

文字セットの切り換えパターン
DAAAADCCCCD

ＵＰＣ短縮バージョンの場合

文字セットの切り換えパターン	末尾１桁（チェックデジット）
DBBBAAAD	0
DBBABAAD	1
DBBAABAD	2
DBBAAABD	3
DBABBAAD	4
DBAABBAD	5
DBAAABBD	6
DBABABAD	7
DBABAABD	8
DBAABABD	9

補足：Ａ＝Ｊ＿＿＿＿Ａ．ＢＡＲ　又は　ＢＡＲｊａｎ－Ａ．ＢＡＲ
　　　Ｂ＝Ｊ＿＿＿＿Ｂ．ＢＡＲ　又は　ＢＡＲｊａｎ－Ｂ．ＢＡＲ
　　　Ｃ＝Ｊ＿＿＿＿Ｃ．ＢＡＲ　又は　ＢＡＲｊａｎ－Ｃ．ＢＡＲ
　　　Ｄ＝Ｊ＿＿＿＿Ｄ．ＢＡＲ　又は　ＢＡＲｊａｎ－Ｄ．ＢＡＲ
　　　の文字セットの略称です。

ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣの末尾がチェックデジットになっておりますが、チェックデジットが正しくないデータの場合、バーコードが読み取れないことがあります。
正当なデータにするためにチェックデジットを付加する時は、ユーザーアプリケーションで行って下さい。
チェックデジットの算出方法は、付録ＪＡＮコードチェックデジット計算方法のページをご参照下さい。

2 文字コードの切り換えによる印刷方法

ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣコードはデータパターンによって、同一コードでもバーコードのデザインが違うことは前項で説明しましたが、本プリンタでは、異なるデータパターンのデザインを、別のコードとして１つの文字セット（Ｊ＿＿＿＿Ａ．ＢＡＲ又はＢＡＲｊａｎ－Ａ．ＢＡＲ）に格納しています。たとえば、データパターンＣでのコード“０”のデザインはコード“Ｐ”として格納しています。
以下の方法は、印字する文字コードを置き換えることにより、１つの文字セットで印字します。

2-1 ＬＩＰＳモードでの印刷方法

以下の手順で本プリンタに送る事によって印刷できます。

① 文字セット（ＢＡＲｊａｎ－Ａ．ＢＡＲ）を文字セット名称選択命令にて選択します。
② ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣ等印刷するバーコードに合わせて文字コードを指定します。
文字コードの置換方法は、１７ページ以降をご参照下さい。

2-2 各種エミュレーションモードでの印刷方法

文字セット名称選択命令Ｉのコマンドを用いて印刷します。

注意：文字セット名称選択命令Ｉの各パラメータは、以下の様に設定して下さい。

文字セット名称　：　Ｊ＿＿＿＿Ａ．ＢＡＲの文字セット
横　拡　大　率　：　1/2～２倍
縦　拡　大　率　：　1/2～２倍
文　字　ピ　ッ　チ　：　文字セット固有の文字ピッチ
但し、縦横の拡大率を1/2、２倍の組み合わせでの指定時はそれぞれ等倍になりますので、ご注意下さい。
文字コードのバイト数　：　バーコードの文字コードのバイト数
文　字　コ　ー　ド　：　バーコードの文字コード
バーコードの文字コードは、ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣ等によって文字コードを置換して指定する必要があります。
文字コードの置換方法は、１７ページ以降をご参照下さい。
文字セット名称選択命令Ｉは、各エミュレーションモードの取扱説明書をご参照下さい。

2-3 文字コードの置換

① ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣ標準バージョンの場合

コード番号１桁目によって以下の文字コード置換パターンに従って文字コードを指定します。

先頭１桁	文字コードの置換パターン	
0	D_L AAAAAA D_M CCCCCCD_R	・・・UPC コード
1	D_L AABABB D_M CCCCCCD_R	
2	D_L AABBAB D_M CCCCCCD_R	
3	D_L AABBBA D_M CCCCCCD_R	
4	D_L ABAABB D_M CCCCCCD_R	・・・JAN コード
5	D_L ABBAAB D_M CCCCCCD_R	
6	D_L ABBBAA D_M CCCCCCD_R	
7	D_L ABABAB D_M CCCCCCD_R	
8	D_L ABABBA D_M CCCCCCD_R	
9	D_L ABBABA D_M CCCCCCD_R	

解説：コード番号の１桁目によって２桁目から１３桁目を上記の置換パターンで各桁のバーコードを指定します。

D_L ＝ L （文字コード４C(ｈ))レフトガードバー

D_M ＝ M （文字コード４D(ｈ))センターガードバー

D_R ＝ N （文字コード４E(ｈ))ライトガードバー

A ＝ データキャラクタ ０～９ (文字コード３０(ｈ)～３９(ｈ))をそのまま指定します。

B ＝ データキャラクタ ０～９ (文字コード３０(ｈ)～３９(ｈ))を@～I(文字コード４０(ｈ)～４９(ｈ))に置換して指定します。

C ＝ データキャラクタ ０～９ (文字コード３０(ｈ)～３９(ｈ))をP～Y(文字コード５０(ｈ)～５９(ｈ))に置換して指定します。

尚、A、B、Cパターンの置換は、２０ページ表１－１の置換表をご参照下さい。

② ＪＡＮ、ＥＡＮ短縮バージョンの場合

以下の文字コード置換パターンに従って文字コードを指定します。

文字コードの置換パターン
D_L AAAAD_MCCCCD_R

解説：D_L ＝ L （文字コード４C(ｈ))レフトガードバー
D_M ＝ M （文字コード４D(ｈ))センターガードバー
D_R ＝ N （文字コード４E(ｈ))ライトガードバー
A ＝ データキャラクタ ０～９ (文字コード３０(ｈ)～３９(ｈ))を
そのまま指定します。
C ＝ データキャラクタ ０～９ (文字コード３０(ｈ)～３９(ｈ))をP～Y
(文字コード５０(ｈ)～５９(ｈ))に置換
して指定します。
尚、A、Cパターンの置換は、２０ページ表１－１の置換表をご参照下さい。

③　ＵＰＣ短縮バージョンの場合

コード番号の末尾の番号によって、以下の文字コードの置換パターンに従って文字コードを指定します。

文字コードの置換パターン	末尾（CD）
D_L BBBAAA D_E	0
D_L BBABAA D_E	1
D_L BBAABA D_E	2
D_L BBAAAB D_E	3
D_L BABBAA D_E	4
D_L BAABBA D_E	5
D_L BAAABB D_E	6
D_L BABABA D_E	7
D_L BABAAB D_E	8
D_L BAABAB D_E	9

CD ＝ チェックデジット

解説：文字コードの末尾はチェックデジット（以下ＣＤ）となっています。
ＣＤによって上記の文字コードの置換パターンに従って各桁の文字コードを指定します。ＵＰＣ短縮のＣＤの計算方法は、付録ＵＰＣ短縮のチェックデジット計算方法のページをご参照下さい。また、コード番号２桁目から、７桁目の６桁をバーコードとして印字、先頭１桁目と末尾のＣＤは、バーコードとして印字しません。

D_L　＝　Ｌ（文字コード４C(ｈ))

D_E　＝　Ｏ（文字コード４F(ｈ))

Ａ　＝　文字コード　０～９　(文字コード３０(ｈ)～３９(ｈ))を
そのまま指定します。

Ｂ　＝　文字コード　０～９　(文字コード３０(ｈ)～３９(ｈ))を@～I
(文字コード４０(ｈ)～４９(ｈ))に置換
して指定します。

尚、Ａ、Ｂパターンの置換は、２０ページ表１－１の置換表をご参照下さい。

表１－１　A、B、Cパターンの置換表

ﾊﾟﾀｰﾝ ＼ ﾃﾞｰﾀ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
B	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I
C	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y

尚、ライトガードバーは、文字セット切り換えの印刷の場合と指定する文字コードが異なりますのでご注意下さい。

例１）ＪＡＮコード（１３桁）“９１２３４５６７８９０４”を印字する場合
→指定するコードは以下の様になります。
“Ｌ９Ａ２３ＤＥＭＶＷＸＹＰＴＮ”

例２）ＪＡＮコード（８桁）“９１２３４５６７”を印字する場合
→指定するコードは以下の様になります。
“Ｌ９１２３ＭＴＵＶＷＮ”

例３）ＵＰＣコード（短縮）“０１２３４５０５”を印字する場合
→指定するコードは以下の様になります。
“ＬＡ２３ＤＥ０Ｏ”

ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣの印刷サンプル例

文字セットの切り換え方法による印刷サンプル

ＬＩＰＳモードで、文字セットの切り換えによる方法でＪＡＮ１３桁のバーコードを印刷する場合。（メインプログラムは巻末を参照）

サンプルプログラム（ＶＣ＋＋）

```
//****************************************************************************
//
//      関数： OutPutStuff  ( HANDLE)
//
//      目的： PASSTHRUGHでプリンタに直接コマンドを送信する。
//
//****************************************************************************
void OutPutStuff  ( HANDLE hDC)   {

COM          Com ;                                                    //Escape出力構造体
short  Count ;                                                        //ﾙｰﾌﾟｶｳﾝﾀ
char   *TextMode     = "%¥x1E} p¥x1E" ;                               //ﾋﾟｸﾁｬ終了&ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ移行命令
char   *CrLf         = "¥xD¥xA" ;                                     //改行命令
char   *MojiSetA     = "¥x1BPzBARjan-A.BAR¥x1B¥¥" ;                   //文字ｾｯﾄ登録命令
char   *MojiSetB     = "¥x1BPzBARjan-B.BAR¥x1B¥¥" ;                   //文字ｾｯﾄ登録命令
char   *MojiSetC     = "¥x1BPzBARjan-C.BAR¥x1B¥¥" ;                   //文字ｾｯﾄ登録命令
char   *MojiSetD     = "¥x1BPzBARjan-D.BAR¥x1B¥¥" ;                   //文字ｾｯﾄ登録命令
char   *Moji_L              = "L" ;                                   //ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ
char   *Moji_M              = "M" ;                                   //ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ
char   *Moji_N              = "N" ;                                   //ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ
char   *Moji_9              = "9" ;                                   //ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字文字
char   *Moji_1              = "1" ;                                   //ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字文字
char   *Moji_23      = "23" ;                                         //ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字文字
char   *Moji_45      = "45" ;                                         //ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字文字
char   *Moji_678904= "678904" ;                                       //ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字文字
char   *CodeNumbar   = "4912345678904" ;                              //ｺｰﾄﾞ番号
char   *KaiPage      = "¥xC" ;                                        //改ﾍﾟｰｼﾞ
char   *VectorMode   = "¥x1B [0&} " ;                                 //ﾍﾞｸﾀﾓｰﾄﾞ移行命令
char   *TextStart    = "¥x1B%@" ;                                     //ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ開始
char   *ShiftIn      = "¥x0F" ;                                       //ｼﾌﾄｲﾝ
char   *MojiSize1    = "¥x1B [240 C" ;                                //文字ｻｲｽﾞ指定
char   *MojiSize2    = "¥x1B [100 C" ;                                //文字ｻｲｽﾞ指定
char   *SizeTani     = "¥x1B [2 ; 300 I" ;                            //文字ｻｲｽﾞ単位指定
char   *MojiPicchi1= "¥x1B [?0 K" ;                                   //文字ﾋﾟｯﾁ指定
char   *MojiPicchi2= "¥x1B [?1428 K" ;                                //文字ﾋﾟｯﾁ指定
char   *MojiPicchi3= "¥x1B [?1000 K" ;                                //文字ﾋﾟｯﾁ指定

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) TextMode) ;
       Com.l = strlen (TextMode) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;         //ﾋﾟｸﾁｬ終了&ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ移行

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) TextStart) ;
       Com.l = strlen (TextStart) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;         //ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ開始

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) ShiftIn) ;
       Com.l = strlen (ShiftIn) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;         //ｼﾌﾄｲﾝ

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiSetD) ;
       Com.l = strlen (MojiSetD) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;         //ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ用文字ｾｯﾄ登録

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) SizeTani) ;
       Com.l = strlen (SizeTani) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;         //文字ｻｲｽﾞ単位指定

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiPicchi1) ;
       Com.l = strlen (MojiPicchi1) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;         //文字ﾋﾟｯﾁ指定

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiSize1) ;
       Com.l = strlen (MojiSize1) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;         //文字ｻｲｽﾞ指定
```

```
lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) CrLf) ;
Com.l = strlen (CrLf) ;
for  (Count = 0 ;  Count < 4 ;  Count++)    {                     //4行改行
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;
}

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) Moji_L) ;
Com.l = strlen (Moji_L) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiSetA) ;
Com.l = strlen (MojiSetD) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //左側用文字ｾｯﾄ登録

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) SizeTani) ;
Com.l = strlen (SizeTani) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //文字ｻｲｽﾞ単位指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiPicchi1) ;
Com.l = strlen (MojiPicchi1) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //文字ﾋﾟｯﾁ指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiSize1) ;
Com.l = strlen (MojiSize1) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //文字ｻｲｽﾞ指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) Moji_9) ;
Com.l = strlen (Moji_9) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiSetB) ;
Com.l = strlen (MojiSetB) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //左側用文字ｾｯﾄ登録

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) SizeTani) ;
Com.l = strlen (SizeTani) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //文字ｻｲｽﾞ単位指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiPicchi2) ;
Com.l = strlen (MojiPicchi2) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //文字ﾋﾟｯﾁ指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiSize1) ;
Com.l = strlen (MojiSize1) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //文字ｻｲｽﾞ指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) Moji_1) ;
Com.l = strlen (Moji_1) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiSetA) ;
Com.l = strlen (MojiSetA) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //左側用文字ｾｯﾄ登録

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) SizeTani) ;
Com.l = strlen (SizeTani) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //文字ｻｲｽﾞ単位指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiPicchi1) ;
Com.l = strlen (MojiPicchi1) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //文字ﾋﾟｯﾁ指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiSize1) ;
Com.l = strlen (MojiSize1) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //文字ｻｲｽﾞ指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) Moji_23) ;
Com.l = strlen (Moji_23) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiSetB) ;
Com.l = strlen (MojiSetB) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //左側用文字ｾｯﾄ登録

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) SizeTani) ;
Com.l = strlen (SizeTani) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //文字ｻｲｽﾞ単位指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiPicchi2) ;
Com.l = strlen (MojiPicchi2) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;             //文字ﾋﾟｯﾁ指定
```

```
lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) MojiSize1) ;
Com.l = strlen (MojiSize1) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //文字ｻｲｽﾞ指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) Moji_45) ;
Com.l = strlen (Moji_45) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) MojiSetD) ;
Com.l = strlen (MojiSetD) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ用文字ｾｯﾄ登録

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) SizeTani) ;
Com.l = strlen (SizeTani) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //文字ｻｲｽﾞ単位指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) MojiPicchi1) ;
Com.l = strlen (MojiPicchi1) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //文字ﾋﾟｯﾁ指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) MojiSize1) ;
Com.l = strlen (MojiSize1) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //文字ｻｲｽﾞ指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) Moji_M) ;
Com.l = strlen (Moji_M) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) MojiSetC) ;
Com.l = strlen (MojiSetC) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //右側用文字ｾｯﾄ登録

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) SizeTani) ;
Com.l = strlen (SizeTani) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //文字ｻｲｽﾞ単位指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) MojiPicchi2) ;
Com.l = strlen (MojiPicchi2) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //文字ﾋﾟｯﾁ指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) MojiSize1) ;
Com.l = strlen (MojiSize1) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //文字ｻｲｽﾞ指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) Moji_678904) ;
Com.l = strlen (Moji_678904) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) MojiSetD) ;
Com.l = strlen (MojiSetD) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ用文字ｾｯﾄ登録

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) SizeTani) ;
Com.l = strlen (SizeTani) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //文字ｻｲｽﾞ単位指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) MojiPicchi1) ;
Com.l = strlen (MojiPicchi1) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //文字ﾋﾟｯﾁ指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) MojiSize1) ;
Com.l = strlen (MojiSize1) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //文字ｻｲｽﾞ指定

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) Moji_N) ;
Com.l = strlen (Moji_N) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;                //ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,   (LPCSTR) CrLf) ;
Com.l = strlen (CrLf) ;
for  (Count = 0 ;  Count < 2 ;  Count++)    {                          //2行改行
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,   (LPSTR) &Com, NULL) ;
}
```

```
lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) KaiPage) ;
Com.l = strlen (KaiPage) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;          //改ﾍﾟｰｼﾞ

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) VectorMode) ;
Com.l = strlen (VectorMode) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;          //ﾍﾞｸﾀﾓｰﾄﾞ移行
```

ＬＩＰＳモードで、文字セットの切り換えによる方法でＪＡＮ１３桁のバーコードを印刷する場合。

サンプルプログラム（ＢＡＳＩＣ）

```
10  REM   *****  ＪＡＮ  １３桁  ＬＩＰＳモード  印刷  *****
20  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H25) ; CHR$ (&H40) ;                                  'ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ開始
30                                                                                    'ｼﾞｮﾌﾞ開始命令
40  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H50) ; "31" ; CHR$ (&H3B) ; "300" ; CHR$ (&H3B) ; "1" ; CHR$ (&H4A) ; CHR$ (&H1B) ;
CHR$ (&H5C) ;
50  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "0" ; CHR$ (&H22) ; "p" ;
60  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H3C) ;                                                'ｿﾌﾄﾘｾｯﾄ
70  LPRINT CHR$ (&H0F) ;                                                              'ｼﾌﾄｲﾝ
80  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                                  '改行
90  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                                  '改行
100 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                                  '改行
110 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                                  '改行
120 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzBARjan-D.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;                       '文字ｾｯﾄ名称選択
130                                                                                   'ｻｲｽﾞ単位選択
140 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "2" ; CHR$ (&H3B) ; "300" ; " I" ;
150 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "?0" ; " K" ;                                  '文字ﾋﾟｯﾁ指定
160 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "240" ; " C" ;                                 '文字ｻｲｽﾞ指定
170 LPRINT "L" ;                                                                      'ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字
180 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzBARjan-A.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;                       '文字ｾｯﾄ名称選択
190                                                                                   'ｻｲｽﾞ単位選択
200 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "2" ; CHR$ (&H3B) ; "300" ; " I" ;
210 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "?0" ; " K" ;                                  '文字ﾋﾟｯﾁ指定
220 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "240" ; " C" ;                                 '文字ｻｲｽﾞ指定
230 LPRINT "9" ;                                                                      'ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
240 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzBARjan-B.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;                       '文字ｾｯﾄ名称選択
250                                                                                   'ｻｲｽﾞ単位選択
260 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "2" ; CHR$ (&H3B) ; "300" ; " I" ;
270 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "?1428" ; " K" ;                               '文字ﾋﾟｯﾁ指定
280 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "240" ; " C" ;                                 '文字ｻｲｽﾞ指定
290 LPRINT "1" ;                                                                      'ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
300 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzBARjan-A.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;                       '文字ｾｯﾄ名称選択
310                                                                                   'ｻｲｽﾞ単位選択
320 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "2" ; CHR$ (&H3B) ; "300" ; " I" ;
330 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "?0" ; " K" ;                                  '文字ﾋﾟｯﾁ指定
340 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "240" ; " C" ;                                 '文字ｻｲｽﾞ指定
350 LPRINT "23" ;                                                                     'ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
360 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzBARjan-B.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;                       '文字ｾｯﾄ名称選択
370                                                                                   'ｻｲｽﾞ単位選択
380 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "2" ; CHR$ (&H3B) ; "300" ; " I" ;
390 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "?1428" ; " K" ;                               '文字ﾋﾟｯﾁ指定
400 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "240" ; " C" ;                                 '文字ｻｲｽﾞ指定
410 LPRINT "45" ;                                                                     'ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
420 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzBARjan-D.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;                       '文字ｾｯﾄ名称選択
430                                                                                   'ｻｲｽﾞ単位選択
450 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "2" ; CHR$ (&H3B) ; "300" ; " I" ;
460 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "?0" ; " K" ;                                  '文字ﾋﾟｯﾁ指定
470 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "240" ; " C" ;                                 '文字ｻｲｽﾞ指定
480 LPRINT "M" ;                                                                      'ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字
490 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzBARjan-C.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;                       '文字ｾｯﾄ名称選択
500                                                                                   'ｻｲｽﾞ単位選択
510 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "2" ; CHR$ (&H3B) ; "300" ; " I" ;
520 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "?1428" ; " K" ;                               '文字ﾋﾟｯﾁ指定
530 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "240" ; " C" ;                                 '文字ｻｲｽﾞ指定
540 LPRINT "678904" ;                                                                 'ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
550 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzBARjan-D.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;                       '文字ｾｯﾄ名称選択
560                                                                                   'ｻｲｽﾞ単位選択
570 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "2" ; CHR$ (&H3B) ; "300" ; " I" ;
580 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "?0" ; " K" ;                                  '文字ﾋﾟｯﾁ指定
590 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "240" ; " C" ;                                 '文字ｻｲｽﾞ指定
600 LPRINT "N" ;                                                                      'ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字
610 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                                  '改行
620 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                                  '改行
```

```
630 LPRINT CHR$ (&HC) ;                                                       ' 改ﾍﾟｰｼﾞ
640                                                                           ' ｼﾞｮﾌﾞ終了命令
650 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H50) ; CHR$ (&H30) ; CHR$ (&H4A) ; CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5C) ;
660 END
```

ＥＳＣ／Ｐのエミュレーションモードで、３ドットモジュール、高さ１００ドットの文字セットの切り換えによる方法でＪＡＮ１３桁のバーコードを印刷する場合。

サンプルプログラム（ＢＡＳＩＣ）

```
10  REM   *****  ＪＡＮ  １３桁  ＥＳＣ／Ｐエミュレーションモード  印刷  *****
20                                                                      'LIPSの制御命令によるﾍﾟｰｼﾞ登録開始
30  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H7C) ; CHR$ (&H27) ; CHR$ (&H00) ; CHR$ (&H01) ; CHR$ (&H30) ;
40  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ; CHR$ (&H08) ; CHR$ (&H00) ;      '8ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞ命令
50  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
60  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
70  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
80  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
90  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ; CHR$ (&H10) ; CHR$ (&H00) ;      '8ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞ命令
100 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzJ3100D.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;          ' ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ用文字ｾｯﾄ名称選択
110 LPRINT "L" ;                                                        ' ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字
120 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ; CHR$ (&H10) ; CHR$ (&H00) ;      '8ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞ命令
130 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzJ3100A.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;          ' 左側ﾃﾞｰﾀ用文字ｾｯﾄ名称選択
140 LPRINT "9" ;                                                        ' ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
150 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ; CHR$ (&H10) ; CHR$ (&H00) ;      '8ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞ命令
160 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzJ3100B.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;          ' 左側ﾃﾞｰﾀ用文字ｾｯﾄ名称選択
170 LPRINT "1" ;                                                        ' ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
180 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ; CHR$ (&H11) ; CHR$ (&H00) ;      '8ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞ命令
190 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzJ3100A.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;          ' 左側ﾃﾞｰﾀ用文字ｾｯﾄ名称選択
200 LPRINT "23" ;                                                       ' ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
210 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ; CHR$ (&H11) ; CHR$ (&H00) ;      '8ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞ命令
220 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzJ3100B.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;          ' 左側ﾃﾞｰﾀ用文字ｾｯﾄ名称選択
230 LPRINT "45" ;                                                       ' ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
240 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ; CHR$ (&H10) ; CHR$ (&H00) ;      '8ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞ命令
250 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzJ3100D.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;          ' ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ用文字ｾｯﾄ名称選択
260 LPRINT "M" ;                                                        ' ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字
270 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ; CHR$ (&H15) ; CHR$ (&H00) ;      '8ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞ命令
280 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzJ3100C.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;          ' 右側ﾃﾞｰﾀ用文字ｾｯﾄ名称選択
290 LPRINT "678904" ;                                                   ' ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
300 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ; CHR$ (&H10) ; CHR$ (&H00) ;      '8ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞ命令
310 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzJ3100D.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;          ' ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ用文字ｾｯﾄ名称選択
320 LPRINT "N" ;                                                        ' ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字
330 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ; CHR$ (&H04) ; CHR$ (&H00) ;      '8ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞ命令
340 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
350 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ;                                  ' 半改行
360                                                                     'LIPSの制御命令によるﾍﾟｰｼﾞ終了開始
370 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H7C) ; CHR$ (&H2E) ; CHR$ (&H00) ; CHR$ (&H00) ;
380                                                                     ' ﾕｰｻﾞﾍﾟｰｼﾞ登録開始
390 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H7C) ; CHR$ (&H68) ; CHR$ (&H00) ; CHR$ (&H01) ; CHR$ (&H30) ;
400 END
```

※ＬＩＰＳモードのユーザーページ機能を使用する場合には、プリンタパネルから
[ESC/Pの設定] - [LIPSﾌｫｰﾑ] の設定で“LIPS4”を選択しておく必要があります。

文字コードの置換による印刷サンプル

ＬＩＰＳモードで、文字コードの置換による方法でＪＡＮ１３桁のバーコードを印刷する場合。（メインプログラムは巻末を参照）

サンプルプログラム（ＶＣ＋＋）

```
//******************************************************************************
//
//     関数： OutPutStuff  ( HANDLE)
//
//     目的： PASSTHRUGH でプリンタに直接コマンドを送信する。
//
//******************************************************************************
void OutPutStuff  ( HANDLE hDC)   {

COM          Com ;                                              //Escape 出力構造体
short  Count ;                                                  // ﾙｰﾌﾟ ｶｳﾝﾀ
char   *TextMode     = "%¥x1E} p¥x1E" ;                         // ﾋﾟｸﾁｬ終了 & ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ 移行命令
char   *CrLf1        = "¥xD¥xA" ;                               // 改行命令
char   *MojiSet1     = "¥x1BPzBARjan-A.BAR¥x1B¥¥" ;             // 文字ｾｯﾄ登録命令
char   *Moji_L              = "L" ;                             // ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ
char   *Moji_M              = "M" ;                             // ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ
char   *Moji_N              = "N" ;                             // ｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ
char   *Moji_9              = "9" ;                             // ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ 印字文字
char   *Moji_A              = "A" ;                             // ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ 印字文字
char   *Moji_23      = "23" ;                                   // ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ 印字文字
char   *Moji_DE      = "DE" ;                                   // ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ 印字文字
char   *Moji_VWXYPT= "VWXYPT" ;                                 // ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ 印字文字
char   *CodeNumbar   = "4912345678904" ;                        // ｺｰﾄﾞ 番号
char   *KaiPage      = "¥xC" ;                                  // 改ﾍﾟｰｼﾞ
char   *VectorMode   = "¥x1B [0&} " ;                           // ﾍﾞｸﾀﾓｰﾄﾞ 移行命令
char   *TextStart    = "¥x1B%@" ;                               // ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ 開始
char   *ShiftIn      = "¥x0F" ;                                 // ｼﾌﾄｲﾝ
char   *MojiSize1    = "¥x1B [240 C" ;                          // 文字ｻｲｽﾞ 指定
char   *MojiSize2    = "¥x1B [100 C" ;                          // 文字ｻｲｽﾞ 指定
char   *SizeTani     = "¥x1B [2 ; 300 I" ;                      // 文字ｻｲｽﾞ 単位指定
char   *MojiPicchi1= "¥x1B [?0 K" ;                             // 文字ﾋﾟｯﾁ指定
char   *MojiPicchi2= "¥x1B [?1000 K" ;                          // 文字ﾋﾟｯﾁ指定

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) TextMode) ;
       Com.l = strlen (TextMode) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;   // ﾋﾟｸﾁｬ終了 & ﾃｷｽﾄﾓｰﾄ
                                                                                  ﾞ移行
       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) TextStart) ;
       Com.l = strlen (TextStart) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;   // ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ 開始

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) ShiftIn) ;
       Com.l = strlen (ShiftIn) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;   // ｼﾌﾄｲﾝ

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiSet1) ;
       Com.l = strlen (MojiSet1) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;   // 文字ｾｯﾄ登録

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) SizeTani) ;
       Com.l = strlen (SizeTani) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;   // 文字ｻｲｽﾞ 単位指定

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiPicchi1) ;
       Com.l = strlen (MojiPicchi1) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;   // 文字ﾋﾟｯﾁ指定

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) MojiSize1) ;
       Com.l = strlen (MojiSize1) ;
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;   // 文字ｻｲｽﾞ 指定

       lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) CrLf1) ;
       Com.l = strlen (CrLf1) ;
       for  (Count = 0 ;  Count < 4 ;  Count++)    {            //4 行改行
              Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;
       }
```

```
lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) Moji_L) ;
Com.l = strlen (Moji_L) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;          //ﾚﾌﾄｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) Moji_9) ;
Com.l = strlen (Moji_9) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;          //Aﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) Moji_A) ;
Com.l = strlen (Moji_A) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;          //Bﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) Moji_23) ;
Com.l = strlen (Moji_23) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;          //Aﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) Moji_DE) ;
Com.l = strlen (Moji_DE) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;          //Bﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) Moji_M) ;
Com.l = strlen (Moji_M) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;          //ｾﾝﾀｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) Moji_VWXYPT) ;
Com.l = strlen (Moji_VWXYPT) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;          //Cﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) Moji_N) ;
Com.l = strlen (Moji_N) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;          //ﾗｲﾄｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) CrLf1) ;
Com.l = strlen (CrLf1) ;
for  (Count = 0 ;  Count < 2 ;  Count++)    {                   //2行改行
       Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;
}

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) KaiPage) ;
Com.l = strlen (KaiPage) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;          //改ﾍﾟｰｼﾞ

lstrcpy ((LPSTR) &Com.com [0] ,  (LPCSTR) VectorMode) ;
Com.l = strlen (VectorMode) ;
Escape (hDC, PASSTHROUGH, NULL,  (LPSTR) &Com, NULL) ;          //ﾍﾞｸﾀﾓｰﾄﾞ移行
```

ＬＩＰＳモードで、文字コードの置換による方法でＪＡＮ１３桁のバーコードを印刷する場合。

サンプルプログラム（ＢＡＳＩＣ）

```
10  REM *****  ＪＡＮ  １３桁  ＬＩＰＳモード  印刷  *****
20  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H25) ; CHR$ (&H40) ;                    ' ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ開始
30                                                                      ' ｼﾞｮﾌﾞ開始命令
40  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H50) ; "31" ; CHR$ (&H3B) ; "300" ; CHR$ (&H3B) ; "1" ; CHR$ (&H4A) ; CHR$ (&H1B) ;
CHR$ (&H5C) ;
50  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "0" ; CHR$ (&H22) ; "p" ;
60  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H3C) ;                                  ' ｿﾌﾄﾘｾｯﾄ
70  LPRINT CHR$ (&H0F) ;                                                ' ｼﾌﾄｲﾝ
80  LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzBARjan-A.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;          ' 文字ｾｯﾄ名称選択
90                                                                      ' ｻｲｽﾞ単位選択
100 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "2" ; CHR$ (&H3B) ; "300" ; " I" ;
110 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "?0" ; " K" ;                     ' 文字ﾋﾟｯﾁ指定
120 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5B) ; "240" ; " C" ;                    ' 文字ｻｲｽﾞ指定
130 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
140 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
150 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
160 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
170 LPRINT "L" ;                                                        ' ﾚﾌﾄｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字
190 LPRINT "9" ;                                                        ' Aﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
200 LPRINT "A" ;                                                        ' Bﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
210 LPRINT "23" ;                                                       ' Aﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
230 LPRINT "DE" ;                                                       ' Bﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
240 LPRINT "M" ;                                                        ' ｾﾝﾀｰﾊﾞｰ印字
250 LPRINT "VWXYPT" ;                                                   ' Cﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
260 LPRINT "N" ;                                                        ' ﾗｲﾄﾊﾞｰ印字
270 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
280 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
290 LPRINT CHR$ (&HC) ;                                                 ' 改ﾍﾟｰｼﾞ
300                                                                     ' ｼﾞｮﾌﾞ終了命令
310 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H50) ; CHR$ (&H30) ; CHR$ (&H4A) ; CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H5C) ;
320 END
```

ＥＳＣ／Ｐのエミュレーションモードで、３ドットモジュール、高さ100ドットの文字コードの置換による方法でＪＡＮ１３桁のバーコードを印刷する場合。

サンプルプログラム（ＢＡＳＩＣ）

```
10  REM    *****  ＪＡＮ  １３桁  ＥＳＣ／Ｐエミュレーションモード  印刷  *****
20                                                                       'LIPSの制御命令によるﾍﾟｰｼﾞ登録開始
30  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H7C) ; CHR$ (&H27) ; CHR$ (&H00) ; CHR$ (&H01) ; CHR$ (&H30) ;
40  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ; CHR$ (&H08) ; CHR$ (&H00) ;      '8ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞ命令
50  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
60  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
70  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
80  LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
90  LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ; CHR$ (&H1E) ; CHR$ (&H00) ;      '8ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞ命令
100 LPRINT CHR$ (&H1B) ; "PzJ3100A.BAR" ; CHR$ (&H1B) ; "¥" ;           ' 文字ｾｯﾄ名称選択
110 LPRINT "L" ;                                                        ' ﾚﾌﾄｶﾞｰﾄﾞﾊﾞｰ印字
120 LPRINT "9" ;                                                        'Aﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
130 LPRINT "A" ;                                                        'Bﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
140 LPRINT "23" ;                                                       'Aﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
150 LPRINT "DE" ;                                                       'Bﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
160 LPRINT "M" ;                                                        ' ｾﾝﾀｰﾊﾞｰ印字
170 LPRINT "VWXYPT" ;                                                   'Cﾀｲﾌﾟﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字
180 LPRINT "N" ;                                                        ' ﾗｲﾄﾊﾞｰ印字
190 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ; CHR$ (&H04) ; CHR$ (&H00) ;      '8ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞ命令
200 LPRINT CHR$ (&HD) ; CHR$ (&HA) ;                                    ' 改行
210 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H4B) ;                                  ' 半改行
220                                                                       'LIPSの制御命令によるﾍﾟｰｼﾞ終了開始
230 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H7C) ; CHR$ (&H2E) ; CHR$ (&H00) ; CHR$ (&H00) ;
240                                                                       ' ﾕｰｻﾞﾍﾟｰｼﾞ登録開始
250 LPRINT CHR$ (&H1B) ; CHR$ (&H7C) ; CHR$ (&H68) ; CHR$ (&H00) ; CHR$ (&H01) ; CHR$ (&H30) ;
260 END
```

カスタマバーコードの印刷方法

① 文字セット名称選択命令にて、印字するバーコードの文字セットを選択して本プリンタに送って下さい。
② バーコードデータを本プリンタに送る事によってバーコードの印刷ができます。

注意：ＬＩＰＳモードは、ＬＩＰＳⅢ又はＬＩＰＳⅣでご使用になれます。
ＬＩＰＳの詳細は、以下の2種類のプログラマーズマニュアルをご参照下さい。
・プログラマーズマニュアル「ソフトウェア概説書4.2」（LIPSコマンドの概要を知るためのマニュアル）
・プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス4.2」（LIPSコマンドの手引き）
※LIPS IVのプログラマーズマニュアルは、キヤノンホームページからダウンロードすることができます。

カスタマバーコードの印刷サンプル例

「２６３００２３３－３０－８－４０３」のカスタマバーコードを印刷する場合。（メインプログラムは巻末を参照）

サンプルプログラム（ＶＣ＋＋）

```
//****************************************************************************
//
//                        関数： OutPutStuff( HDC )
//
//                        目的： PASSTHRUGH でプリンタに直接コマンドを送信する。
//
//****************************************************************************
void OutPutStuff( HDC hDC )
{
COM Com;                                                      //Escape 出力構造体
short Count;                                                  //ﾙｰﾌﾟｶｳﾝﾀ
char  *TextMode       = "%¥x1E}p¥x1E";                        //ﾋﾟｸﾁｬ終了 &ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ移行命令
char  *CrLf1          = "¥xD¥xA";                             // 改行命令
char  *MojiSet1       = "¥x1BPzBARpostal.BAR¥x1B¥¥";          // 文字ｾｯﾄ登録命令
char  *PostalCode     = "(26300233-30-8-403DDD5)";            //ﾊﾞｰｺｰﾄﾞﾃﾞｰﾀ
char  *KaiPage        = "¥xC";                                // 改ﾍﾟｰｼﾞ
char  *VectorMode     = "¥x1B[0&}¥"";                         //ﾍﾞｸﾀﾓｰﾄﾞ移行命令
char  *TextStart      = "¥x1B%@";                             //ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ開始
char  *ShiftIn        = "¥x0F";                               //ｼﾌﾄｲﾝ
char  *MojiSize1      = "¥x1B[100 C";                         // 文字ｻｲｽﾞ指定
char  *SizeTani       = "¥x1B[2;300 I";                       // 文字ｻｲｽﾞ単位指定
char  *MojiPicchi1    = "¥x1B[?720 K";                        // 文字ﾋﾟｯﾁ指定

lstrcpy((LPSTR) &Com.com[ 0 ], (LPCSTR)TextMode );
Com.l = strlen( TextMode );
Escape( hDC, PASSTHROUGH, NULL, (LPSTR)&Com, NULL );          //ﾋﾟｸﾁｬ終了 &ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ移行

lstrcpy((LPSTR) &Com.com[ 0 ], (LPCSTR)TextStart );
Com.l = strlen( TextStart );
Escape( hDC, PASSTHROUGH, NULL, (LPSTR)&Com, NULL );          //ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ開始

lstrcpy((LPSTR) &Com.com[ 0 ], (LPCSTR)ShiftIn );
Com.l = strlen( ShiftIn );
Escape( hDC, PASSTHROUGH, NULL, (LPSTR)&Com, NULL );          //ｼﾌﾄｲﾝ

lstrcpy((LPSTR) &Com.com[ 0 ], (LPCSTR)MojiSet1 );
Com.l = strlen( MojiSet1 );
Escape( hDC, PASSTHROUGH, NULL, (LPSTR)&Com, NULL );          // 文字ｾｯﾄ登録

lstrcpy((LPSTR) &Com.com[ 0 ], (LPCSTR)SizeTani );
Com.l = strlen( SizeTani );
Escape( hDC, PASSTHROUGH, NULL, (LPSTR)&Com, NULL );          // 文字ｻｲｽﾞ単位指定

lstrcpy((LPSTR) &Com.com[ 0 ], (LPCSTR)MojiPicchi1 );
Com.l = strlen( MojiPicchi1 );
Escape( hDC, PASSTHROUGH, NULL, (LPSTR)&Com, NULL );          // 文字ﾋﾟｯﾁ指定

lstrcpy((LPSTR) &Com.com[ 0 ], (LPCSTR)MojiSize1 );
Com.l = strlen( MojiSize1 );
```

```
Escape( hDC, PASSTHROUGH, NULL, (LPSTR)&Com, NULL );                // 文字ｻｲｽﾞ指定

lstrcpy((LPSTR) &Com.com[ 0 ], (LPCSTR)CrLf1 );
Com.l = strlen( CrLf1 );
for ( Count = 0; Count < 4; Count ++ ){                              //4 行改行
        Escape( hDC, PASSTHROUGH, NULL, (LPSTR)&Com, NULL );
}

lstrcpy((LPSTR) &Com.com[ 0 ], (LPCSTR)PostalCode );
Com.l = strlen( PostalCode );
Escape( hDC, PASSTHROUGH, NULL, (LPSTR)&Com, NULL );                //ﾊﾞｰｺｰﾄﾞﾃﾞｰﾀ

lstrcpy((LPSTR) &Com.com[ 0 ], (LPCSTR)KaiPage );
Com.l = strlen( KaiPage );
Escape( hDC, PASSTHROUGH, NULL, (LPSTR)&Com, NULL );                // 改ﾍﾟｰｼﾞ

lstrcpy((LPSTR) &Com.com[ 0 ], (LPCSTR)VectorMode );
Com.l = strlen( VectorMode );
Escape( hDC, PASSTHROUGH, NULL, (LPSTR)&Com, NULL );                //ﾍﾞｸﾀﾓｰﾄﾞ移行命令
}
```

「２６３００２３３－３０－８－４０３」のカスタマバーコードを印刷する場合。（メインプログラムは巻末を参照）

サンプルプログラム（ＢＡＳＩＣ）

```
10  rem *****    カスタマーバーコード  LIPSモード  印刷    *****
20  LPRINT CHR$(&H1B); CHR$(&H25); CHR$(&H40);                          ' ﾃｷｽﾄﾓｰﾄﾞ開始
30
                                                                        ' ｼﾞｮﾌﾞ開始命令
40  LPRINT CHR$(&H1B); CHR$(&H50); "31"; CHR$(&H3B); "300"; CHR$(&H3B); "1"; CHR$(&H4A); CHR$
(&H1B); CHR$(&H5C);
50  LPRINT CHR$(&H1B); CHR$(&H5B); "0"; CHR$(&H22); "p";
60  LPRINT CHR$(&H1B); CHR$(&H3C);
                                                                        ' ｿﾌﾄﾘｾｯﾄ
70  LPRINT CHR$(&HF);
                                                                        ' ｼﾌﾄｲﾝ
80  LPRINT CHR$(&H1B); "PzBARpostal.BAR"; CHR$(&H1B); "¥";               ' 文字ｾｯﾄ名称選択
90
100 LPRINT CHR$(&H1B); CHR$(&H5B); "2"; CHR$(&H3B); "300"; "I";         ' ｻｲｽﾞ単位選択
110 LPRINT CHR$(&H1B); CHR$(&H5B); "?720"; " K";                        ' 文字ﾋﾟｯﾁ指定
120 LPRINT CHR$(&H1B); CHR$(&H5B); "100"; " C";                         ' 文字ｻｲｽﾞ指定
130 LPRINT CHR$(&HD); CHR$(&HA);                                        ' 改行
140 LPRINT CHR$(&HD); CHR$(&HA);                                        ' 改行
150 LPRINT CHR$(&HD); CHR$(&HA);                                        ' 改行
160 LPRINT CHR$(&HD); CHR$(&HA);                                        ' 改行
170 LPRINT "(26300233-30-8-403DDD5)";                                   ' ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印刷
180 LPRINT CHR$(&HC);
                                                                        ' 改ﾍﾟｰｼﾞ
190
                                                                        ' ｼﾞｮﾌﾞ終了命令
200 LPRINT CHR$(&H1B); CHR$(&H50); CHR$(&H30); CHR$(&H4A); CHR$(&H1B); CHR$(&H5C);
210 END
```

ＶＣ＋＋用共通サンプルメインプログラム

```
//**************************************************************************
//     Windowsﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印刷 ソースファイル
//--------------------------------------------------------------------------
//     プログラム:MAIN.CPP
//
//     目的:Windowsﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印刷
//**************************************************************************
//**************************************************************************
//                               ｲﾝｸﾙｰﾄﾞﾌｧｲﾙ定義
//**************************************************************************
#include "windows.h"          // すべての Windows アプリケーションに必要
#include <string.h>

//**************************************************************************
//                               ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ変数定義
//**************************************************************************
typedef struct {                                          //Escape 出力構造体
      WORD l ;                                            // 出力ﾃﾞｰﾀｻｲｽﾞ
      char    com[128] ;                                  // 出力ﾃﾞｰﾀ
} COM ;

//**************************************************************************
//
//     関数:WinMain(HANDLE, HANDLE, LPSTR, int)
//
//     目的:Windowsﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒｲﾝ
//
//**************************************************************************
int PASCAL WinMain(HANDLE hInstance, HANDLE hPrevInstance, LPSTR lpCmdLine, int nCmdShow)
{
char        szPrinter[64] ;                               //ﾌﾟﾘﾝﾀ情報取得
char        *szDriver ;                                   //ﾄﾞﾗｲﾊﾞ名
char        *szDevice ;                                   //ﾃﾞﾊﾞｲｽ名
char        *szOutput ;                                   // 出力先名
HDC         hDC ;                                         //ﾃﾞﾊﾞｲｽｺﾝﾃｷｽﾄのﾊﾝﾄﾞﾙ
DOCINFO  DocInfo ;                                        //StartDoc 関数が使用する入力ﾌｧｲ
                                                            ﾙ名と出力ﾌｧｲﾙ名を格納する構造
                                                            体
int         Ret ;                                         //MessageBox 関数の戻り値

      if    (hPrevInstance != NULL)  {                    // ほかのインスタンスが実行中か?
            return ( FALSE) ;                             // 初期化に失敗した場合は終了
      }

      Ret = MessageBox ( NULL,                            // 印刷開始ﾒｯｾｰｼﾞ表示
                        " 印刷を開始してよろしいですか？ ",
                        "Windows Print", MB_OKCANCEL) ;
      if    ( Ret == IDCANCEL) {                          //ｷｬﾝｾﾙﾎﾞﾀﾝ押下時
            return( FALSE) ;                              //ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ終了
      }

      GetProfileString( "windows", "device", "", szPrinter, 64) ;        //WIN.INI より使用ﾌﾟﾘﾝﾀ情報取得
      szDevice   =  strtok     ( szPrinter,     ",") ;
      szDriver   =  strtok     ( NULL,          ",") ;
      szOutput   =  strtok     ( NULL,          ",") ;
      hDC = CreateDC (szDriver, szDevice, szOutput, NULL) ;              //ﾌﾟﾘﾝﾀのﾃﾞﾊﾞｲｽｺﾝﾃｷｽﾄ作成
```

```
//DOCINFO 構造体 初期化
DocInfo.cbSize          =  sizeof( DOCINFO) ;                  // 構造体のｻｲｽﾞ指定
DocInfo.lpszDocName     =  "TEST" ;                            // 文書の名前指定
DocInfo.lpszOutput      =  NULL ;                              //ﾌｧｲﾙ名も指定可能

// ここで、 印刷を行う
if      ( StartDoc( hDC, &DocInfo) > 0) {                      // 印刷ｼﾞｮﾌﾞの開始
        // プリントに出力する
        OutPutStuff( hDC) ;
        EndDoc( hDC) ;                                          // 印刷ｼﾞｮﾌﾞを終了
}
else {                                                         //StartDocｴﾗｰ
        AbortDoc( hDC) ;                                       // 現在の印刷ｼﾞｮﾌﾞの強制終了
        MessageBox(NULL,                                       //ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ表示
                    "プリンタを起動できませんでした。",
                    "Warning", MB_OK) ;
}
DeleteDC( hDC) ;                                               //ﾌﾟﾘﾝﾀのﾃﾞﾊﾞｲｽｺﾝﾃｷｽﾄ 削除

return( TRUE) ;                                                // 初期化に失敗した場合は終了
}
```

４．　バーコードフォント仕様

共通仕様

■ 各文字セットは、ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣ、ＣＯＤＥ39、NW−7、カスタマバーコードフォントとも１バイトフォントです。
■ 印字するバーコードの大きさによって文字セット名称を選択します。
■ バーコードの印刷は、それぞれの文字セットの持つ属性により印刷します。
■ 各バーコードの割当てられていない文字コードの印字は、スペースに置き換わります。
■ それぞれのバーコードには、各種ドットフォントによるモジュールとスケーラブルフォントによるモジュールのバーコードフォントがあります。
詳細は、付録 文字セット一覧をご参照下さい。

ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣ用フォント仕様

1 文字セット仕様（ドットフォント）

ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣ用の文字セットは以下の構成になっています。

（１）左側のデータキャラクタの奇数パリティ用のフォント、及び文字コード置き換えで使用する全フォントが割り当てられている文字セット

（＝Ｊ$\underline{X_1}$　$\underline{X_2}$　$\underline{X_3}$　$\underline{X_4}$　Ａ．ＢＡＲ）

（２）左側のデータキャラクタの偶数パリティ用のフォントが割り当てられている文字セット

（＝Ｊ$\underline{X_1}$　$\underline{X_2}$　$\underline{X_3}$　$\underline{X_4}$　Ｂ．ＢＡＲ）

（３）右側のデータキャラクタ用のフォントが割り当てられている文字セット

（＝Ｊ$\underline{X_1}$　$\underline{X_2}$　$\underline{X_3}$　$\underline{X_4}$　Ｃ．ＢＡＲ）

（４）レフトガードバー、センターガードバー、ライトガードバー用のフォントが割り当てられている文字セット

（＝Ｊ$\underline{X_1}$　$\underline{X_2}$　$\underline{X_3}$　$\underline{X_4}$　Ｄ．ＢＡＲ）

ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣコードを印刷する際には、上記4つの文字セットまたは、（１）の文字セットが必要になります。
各文字セットに持つフォントは以下のとおりです。

Ｊ$\underline{X_1}$　$\underline{X_2}$　$\underline{X_3}$　$\underline{X_4}$　Ａ．ＢＡＲの文字セット―― 数字の０～９
英数の@～I、P～Y、L～O

Ｊ$\underline{X_1}$　$\underline{X_2}$　$\underline{X_3}$　$\underline{X_4}$　Ｂ．ＢＡＲの文字セット┬― 数字の０～９
Ｊ$\underline{X_1}$　$\underline{X_2}$　$\underline{X_3}$　$\underline{X_4}$　Ｃ．ＢＡＲの文字セット┘

Ｊ$\underline{X_1}$　$\underline{X_2}$　$\underline{X_3}$　$\underline{X_4}$　Ｄ．ＢＡＲの文字セット―― 英大のＬ、Ｍ、Ｒ、Ｅ

$\underline{X_1}$・・・・・・・・・ ドットモジュール名
２：３ドットモジュール
３：４ドットモジュール
５：６ドットモジュール

$\underline{X_2}$　$\underline{X_3}$　$\underline{X_4}$・・・・ バーコードの高さ
０６０：高さ　７５ドット（300dpi）
０８０：高さ１００ドット（300dpi）
１００：高さ１２５ドット（300dpi）

（例）　文字セット名称　Ｊ２０６０Ｃ．ＢＡＲの場合
モジュールの幅＝３ドット、バーコードの高さ＝７５ドット
右側にデータキャラクタの文字セット

2

文字セット仕様（スケーラブルフォント）
ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣ用の文字セットは以下の構成になっています。

文字の大きさは２４ポイント指定時（３００dpi）

キャラクタ	：２１×１００ドット
レフトガード／ライトガード	：　９×１００ドット
中央ガード	：１５×１００ドット

※ＵＰＣ－Ｅ用のライトガードは１８×１００ドット

3

バーコードシンボル

データキャラクタ	・・	数字（０～９）
レフトガードバー	・・	英字(L)
センターバー	・・・	英字(M)
ライトガードバー	・・	英字(R)

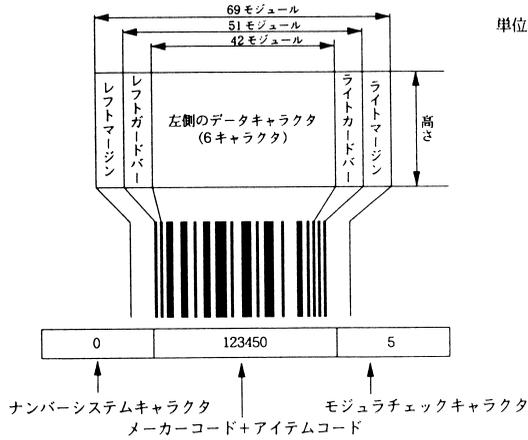
ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣ標準バージョン（１３桁）

ＪＡＮ、ＥＡＮ短縮バージョン（８桁）

1キャラクタ＝7モジュール
1モジュール＝2.3.4.5.6ドット
（1ドット＝約0.106mm）

バーコードシンボル

データキャラクタ ・	数字(0〜9)
レフトガードバー・・	英字(L)
ライトガードバー・・	英字(E)

ＵＰＣ短縮バージョン（６桁）

4 バーコードの寸法

バーコードの寸法の算出方法は以下の通りです。
マージンを含まないシンボル長（Ｌ）は次の計算式で求められます。

ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣ標準バージョンの時・・・・・ Ｌ＝９５Ｘ
ＪＡＮ、ＥＡＮ短縮バージョンの時・・・・・・・・・・ Ｌ＝６７Ｘ
ＵＰＣ短縮バージョンの時・・・・・・・・・・・・・・ Ｌ＝５１Ｘ
（Ｘ＝ドットモジュール幅）

（例）　３ドットモジュール　標準バージョンの時
Ｌ＝９５×３＝２８５ｄｏｔ（＝２８５×０.０８４６＝２４.１１mm）

ＣＯＤＥ３９用フォント仕様

1 文字セット仕様（ドットフォント）

ＣＯＤＥ３９用の文字セットは、以下の構成になっています。

Ｃ$\underline{N}_1$　$\underline{N}_2$　$\underline{N}_3$　$\underline{N}_4$．ＢＡＲの文字セット

$\underline{N}_1$・・・・・・・・・ドットモジュール名
　２：３ドットモジュール
　３：４ドットモジュール
　５：６ドットモジュール

$\underline{N}_2$　$\underline{N}_3$　$\underline{N}_4$・・・バーコードの高さ
　０６０：高さ　７５ドット（300dpi）
　０８０：高さ１００ドット（300dpi）
　１００：高さ１２５ドット（300dpi）

（例）　Ｃ２０６０．ＢＡＲの場合
　ＣＯＤＥ３９細バーが３ドット、バーコードの高さが７５ドットのバーコード用の文字セット

バーコードのシンボル（取り扱う文字）
スタート、ストップコード・・　＊
データキャラクタ・・・・・・　数字（０～９）、英大（Ａ～Ｚ）
　記号（－、・、スペース、＄、／、＋、％）

構成
クワイエットゾーン（マージン）、スタートコード（＊）、データキャラクタ文字、ストップコード（＊）、クワイエットゾーンで構成されます。
クワイエットゾーンの最小値は（細バー）×１０、または２．５４mmのいずれか大きい方の値にします。

バーコードの寸法
（１）　キャラクタ間ギャップ
　キャラクタ間ギャップは、細バーの太さと同様になっています。
　各キャラクタにはギャップを含んだ文字ピッチが与えられます。
（２）　細バーと太バーの比
　細バーと太バーの構成比は以下の様になっています。
（３）　シンボル長（バーコードの長さ）

細バー	太バー	ＲＡＣＩＯ
3	7	2.3
4	１０	2.5
6	１５	2.5

ＲＡＣＩＯ＝細バーと太バーの比

シンボル長（Ｌ）は次の計算式で求められます。
但し、クワイエットゾーンは含みません。
　Ｌ＝（Ｃ＋２）（６Ｘ＋３＋ＮＸ）＋Ｉ（Ｃ＋１）
　Ｘ＝細バーの幅
　Ｃ＝スタート、ストップビットを含まない全キャラクタの総数
　Ｎ＝細バーと太バーの比（例：　３：７：２．３）
　Ｉ＝キャラクタ間ギャップ（例：　細バーが３ドットの時、３）

2

文字セット仕様（スケーラブルフォント）
ＣＯＤＥ３９用の文字セットは以下の構成になっています。

文字の大きさは２４ポイント指定時（３００dpi）
　　４２×１００ドット

NW－７用フォント仕様

1 NW－７文字セット仕様（ドットフォント）

NW－７用の文字セット仕様は以下の構成になっています。

$N\underline{C_1}$　$\underline{C_2}$　$\underline{C_3}$　$\underline{C_4}$．ＢＡＲの文字セット

$\underline{C_1}$・・・・・・・・・　ドットモジュール名

２：２ドットモジュール
３：４ドットモジュール
５：６ドットモジュール

$\underline{C_2}$　$\underline{C_3}$　$\underline{C_4}$・・・　バーコードの高さ

０６０：高さ　７５ドット（300dpi）
０８０：高さ１００ドット（300dpi）
１００：高さ１２５ドット（300dpi）

（例）　Ｎ２０６０．ＢＡＲの場合
NW－７細バーが2ドット、バーコードの高さが75ドットのバーコード用の文字セット

バーコードのシンボル（取り扱う文字）
スタート、ストップコード・・　Ａ～Ｄ、ａ～ｅ、ｎ、ｔ、＊
データキャラクタ・・・・・・　数字（０～９）
記号（－、＄、：、／、．、＋）
通常スタート、ストップコードはＡ～Ｄまたはａ～ｄが使用され、同じキャラクタが使われます。

バーコードの寸法
（１）　キャラクタ間ギャップ
キャラクタ間ギャップは、太バーの太さと同様になっています。
各キャラクタにはギャップを含んだ文字ピッチが与えられます。
（２）　細バーと太バーの比
細バーと太バーの構成比は以下の様になっています。
（３）　シンボル長（バーコードの長さ）

細バー	太バー	ＲＡＣＩＯ
2	6	3.0
4	10	2.5
6	17	2.8

ＲＡＣＩＯ＝細バーと太バーの比

シンボル長（Ｌ）は次の計算式で求められます。
　Ｌ＝ ｛(２Ｎ＋５)（Ｃ＋２）＋（Ｎ－１)（Ｗ＋２)｝ Ｘ＋Ｉ（Ｃ＋１）
　Ｘ＝細バーの幅
　Ｃ＝スタート、ストップビットを含まない全キャラクタの総数
　Ｗ＝幅広キャラクタコードの総数（：、／、.、＋）
　Ｎ＝細バーと太バーの比（例：２：６＝３．０）
　Ｉ＝キャラクタ間ギャップ（例：細バーが３ドットの時、３）
　　（例）　細バー２ドット、データキャラクタ１＋２１３の時
　　　　　Ｌ＝ ｛(2×3.0+5)（5+2）+（3.0-1)（2+2)｝ 2+2（5+1）
　　　　　　＝１８２ｄｏｔ（＝１５．４mm）

2 文字セット仕様（スケーラブルフォント）
ＮＷ－７用の文字セットは以下の構成になっています。

文字の大きさは２４ポイント指定時（３００dpi）
　ＷＩＤＥ　　：３２×１００ドット
　ＮＡＲＲＯＷ　：２８×１００ドット

カスタマバーコードフォント仕様

1 文字セット仕様（スケーラブルフォント）

本プリンタのカスタマバーコードフォントが持つ文字コード、フォント仕様の詳細は、付録のフォント仕様一覧カスタマバーコードフォントのページをご参照下さい。
なお、カスタマバーコード用のフォントには、ドットフォントはありません。

■ 印字ピッチ
　印字ピッチは次の計算式で求められます。
　（１）　文字高さをａポイント、１ポイント＝1/72インチとします。
　（２）　文字高さ（インチ）＝ａ＊1/72
　（３）　文字高さ＝文字幅
　（４）　文字ピッチ（cpi）＝１インチ/（ａ/72）=72/ａ（cpi）

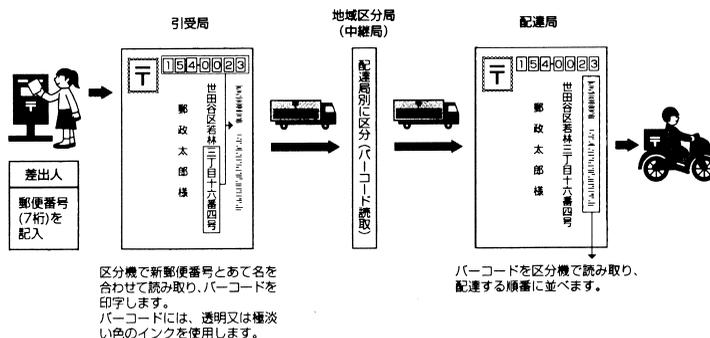
例）
・ ８ポイントの場合の文字ピッチ ‥ 72/8 ＝ 9cpi
・ ９ポイントの場合の文字ピッチ ‥ 72/9 ＝ 8cpi
・ 10ポイントの場合の文字ピッチ ・ 72/10 ＝ 7.2cpi
・ 11ポイントの場合の文字ピッチ ・ 72/11 ＝ 6.55cpi（6.54545454. . . . ）

5. カスタマバーコードについて

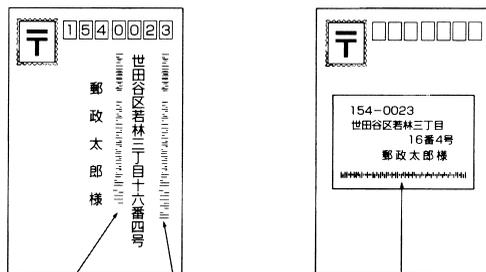
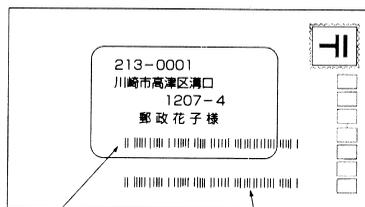
郵便物にカスタマバーコードを印字することができます。
ここでは、お客様が郵便物にカスタマバーコードを印字するために必要な情報を説明しておりますので、内容をご理解の上、郵便物へのカスタマバーコード印字を行ってください。
※「5 カスタマバーコードについて」は、郵便局発行の「新郵便番号制マニュアル」から抜粋しております。

新郵便番号による郵便処理

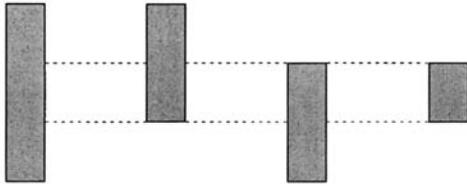
（1） 引き受けた郵便局では、郵便局の区分機で新郵便番号とあて名を合わせて読み取り、住所全体を表すバーコードを印字し、以後の処理は、バーコードを読み取って行います。お客様があらかじめバーコードを印字して差し出した場合は、お客様の印字したバーコードを読み取って処理します。

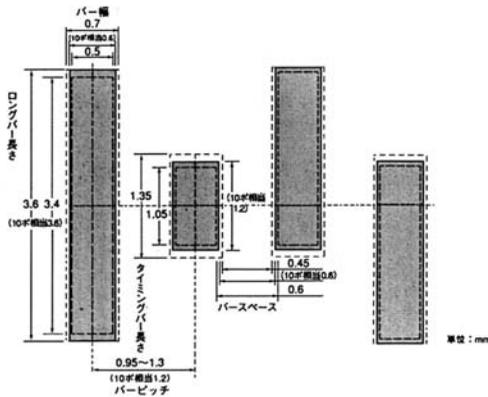
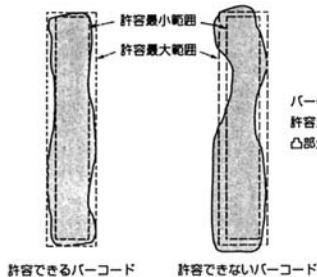
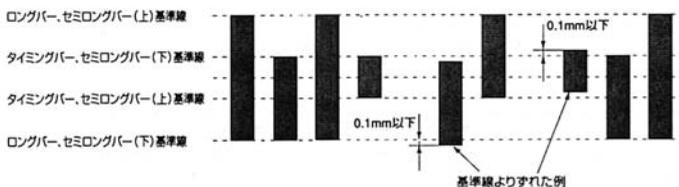
（2） 配達局では、バーコードを読み取り、郵便物を配達順に並べるところまで機械化します。なお、バーコードがまだ印字されていない郵便物は、配達局でバーコードを印字します。

カスタマバーコードとは

郵便物に印字するバーコードには、局内バーコード、ＩＤバーコード、カスタマバーコードの３種類があります。局内バーコードとＩＤバーコードは郵便局で印字するバーコードです。お客様があらかじめ郵便物に印字するバーコードがカスタマバーコードです。
カスタマバーコードは、差出しの必要条件ではなく、料金割引（バーコード割引）を受けようとする場合に印字するもので、あて名印字と同時に印字できるような仕様としています。

〔葉書の場合〕

〔封筒の場合〕

カスタマバーコードの仕様

ア.　カスタマバーコードの形

カスタマバーコードは、上下にバーを延ばしたロングバー、上方向のみにバーを延ばしたセミロングバー（上)、下方向のみにバーを延ばしたセミロングバー（下）及びタイミングバーの 4 つの形状のバーを 3 本組み合わせて 1 つのキャラクタを表す 4 ステイト 3 バーとします。

イ.　カスタマバーコードの体系について

〔カスタマバーコードの寸法〕(10ポ相当)

〔バー印刷のはみ出しに関する許容範囲〕

〔バーコードの基準線からのばらつきに関する許容範囲〕

バーコードの基準線からのばらつきは±0.1mmとします。

ｷｬﾗｸﾀ	ｶｽﾀﾏﾊﾞｰｺｰﾄﾞ	ﾊﾞｰ種類	本製品のｺｰﾄﾞ番号
1		114	31
2		132	32
3		312	33
4		123	34
5		141	35
6		321	36
7		213	37
8		231	38
9		411	39
0		144	30
ハイフン		414	2D
CC1		324	41
CC2		342	42
CC3		234	43
CC4		432	44
CC5		243	45
CC6		423	46
CC7		441	47
CC8		111	48
スタート		13	28
ストップ		31	29

※本製品のｺｰﾄﾞ番号は、ﾍｷｻｺｰﾄﾞです。

ｷｬﾗｸﾀ	ｶｽﾀﾏ ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ	ﾊﾞｰ種類	ｺｰﾄﾞ組合せ	本製品のｺｰﾄﾞ番号
A		324144	CC1+0	4130
B		324114	CC1+1	4131
C		324132	CC1+2	4132
D		324312	CC1+3	4133
E		324123	CC1+4	4134
F		324141	CC1+5	4135
G		324321	CC1+6	4136
H		324213	CC1+7	4137
I		324231	CC1+8	4138
J		324411	CC1+9	4139
K		342144	CC2+0	4130
L		342114	CC2+1	4231
M		342132	CC2+2	4232
N		342312	CC2+3	4233
O		342123	CC2+4	4234
P		342141	CC2+5	4235
Q		342321	CC2+6	4236
R		342213	CC2+7	4237
S		342231	CC2+8	4238
T		342411	CC2+9	4239
U		234144	CC3+0	4330
V		234114	CC3+1	4331
W		234132	CC3+2	4332
X		234312	CC3+3	4333
Y		234123	CC3+4	4334
Z		234141	CC3+5	4335

ウ.　カスタマバーコードの寸法

カスタマバーコードの寸法は、次表の通りとし（10ポイントの場合、a/10=1）、8≦a≦11.5の大きさを許すものとします（8ポイントから11.5ポイント相当）。

aポイント	比率	基準寸法(mm)	許容範囲(mm)
ロングバー長さ	6	3.6×a/10	3.40×a/10~3.60×a/10
タイミングバー長さ	2	1.2×a/10	1.05×a/10~1.35×a/10
バーピッチ	2	1.2×a/10	0.95×a/10~1.30×a/10
バー幅	1	0.6×a/10	0.50×a/10~0.70×a/10
バースペース	1	0.6×a/10	0.45×a/10~0.60×a/10

8 ≦ a ≦ 1 1.5

エ.　カスタマバーコードのフォーマット及びけた数

カスタマバーコードのフォーマットは次のとおりとします。ただし、新郵便番号の 3 けた目と 4 けた目の間のハイフン及び新郵便番号と住所表示番号を連結するハイフンは省きます。また、英字 1 文字は、制御コードと数字コードの組み合わせにより表現し、バーコード 2 けた分として扱います。

ﾌｫｰﾏｯﾄ：	ｽﾀｰﾄｺｰﾄﾞ	＋新郵便番号	＋住所表示番号	＋ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ	＋ｽﾄｯﾌﾟｺｰﾄﾞ
ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ桁数：	（1）	（7）	（13）	（1）	（1）

住所表示番号が規定のけた数13けたに対して過不足のある場合には、次により調整します。

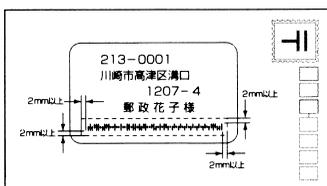
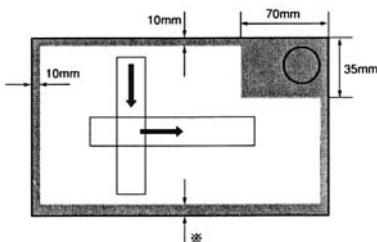
13けたを超える場合	13けたまでの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード＋数字コードで表される英字の制御コードが13けた目に当たる場合は、この制御コードに該当するバーコードまでを含めるものとします。
13けたに満たない場合	13けたになるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとします。

また、チェックデジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクタをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。各キャラクタのチェック用数字への置き換えは、次のとおりとします。

バーコード用キャラクタ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
チェック用数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

バーコード用キャラクタ	−	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
チェック用数字	10	11	12	13	14	15	16	17	18

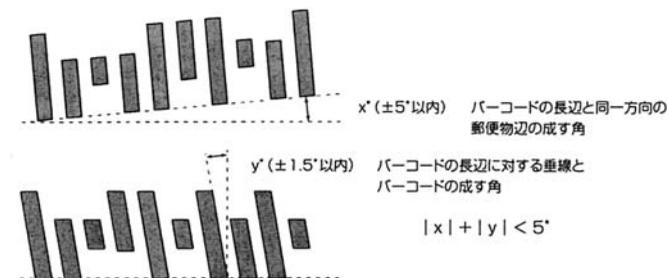
オ.　印字位置

カスタマバーコードの上下左右には、2mm以上の空白を設けるものとします。ただし、窓枠とカスタマバーコードの間の空白は、封筒と内容物のズレにかかわらず、常に上下左右とも2mm以上を確保するものとします。

あて名を横書きする場合は、最下行（あて先氏名の直下）にカスタマバーコードを単独で印字することとし、あて名を縦書きにする場合には、左右又は下部に単独で印字することとします。なお、カスタマバーコードは、次の図の様に、郵便物の表面の縁から10mm及び消印領域である70mm×35mmを除いた範囲内に印字することができます。また、次のような２つの方向で印字することができます。

印字可能領域は、郵便物の縁から10mm（ただし、※部は、できる限り縁から15mm以上開けていただくようお願いします）及び消印領域である70mm×35mmを除いた範囲。印字方向は、矢印の方向。

カ.　カスタマバーコードが印字される下地

カスタマバーコードが印字される下地は、白色又は地模様のない淡い色とします。

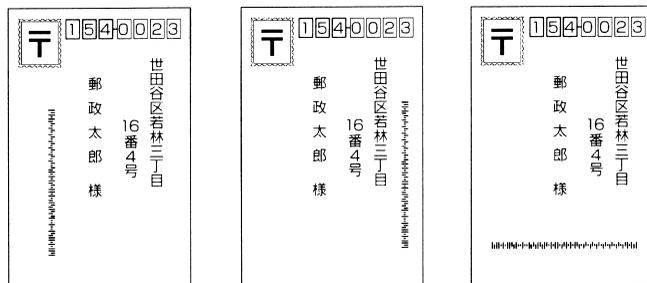
キ.　カスタマバーコードの傾き

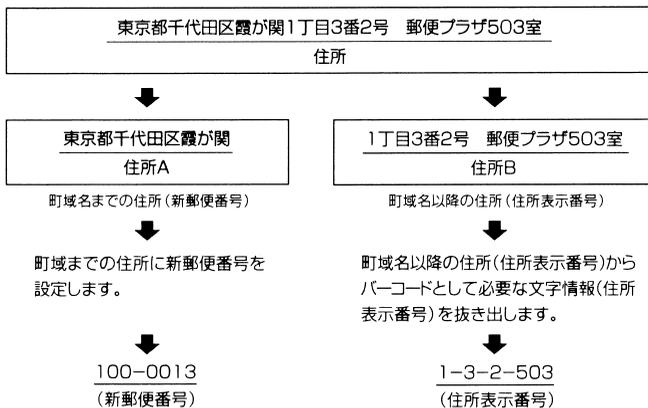
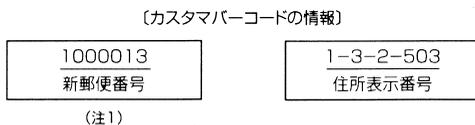
カスタマバーコードの傾きは、バーコードの長辺と同一方向の郵便物辺が成す角が5度以内になるようにします。また、バーコードの長辺に対する垂線とバーコードとの成す角は1.5度以内になるようにするものとし、上記 2 つが混在する場合には、 2 つの傾きの絶対値を加えたものが、5度以内になるようにします。

ク.　使用インク

カスタマバーコードの印字に使用されるインクは、本プリンタによる通常のあて名打ち出しに使用されるインクと同等のものとし、黒又は濃い青色とします。

ケ.　印字品質

カスタマバーコード印字面には、反射率50%以上の紙を使用し、印字面とカスタマバーコードとの反射率PCS（Print Contrast Signal）は、0.6以上とします。また、カスタマバーコードにはインクのにじみやかすれなどが極力ないものとします。

〔カスタマバーコード印刷例〕

バーコードに必要な文字情報の抜き出し法

（１） カスタマバーコードに必要な文字情報の抜き出しから生成までの処理概要
「住所」を町域名までの「住所Ａ」と町域名以降の「住所Ｂ」に分割します。

前記の新郵便番号と住所表示番号を連結してカスタマバーコードの情報とします。

（注１）バーコードの情報を生成するときは、新郵便番号の３～４けた目間のハイフンを省きます。

前記のカスタマバーコードの情報にチェックデジット、スタートコード、ストップコードを付加してカスタマバーコードを生成します。

スタートコード＋新郵便番号＋住所表示番号＋チェックデジット＋ストップコード

		(注2)	(注3)	
(STC	1000013	1−3−2−503 CC4 CC4 CC4 CC4	9	SPC)
（1）	（7）	（13）	（1）	（1） 桁数

（注２）「CC4」は、住所表示番号部分が13けたに満たない場合に充足する制御コードです。
（注３）「チェックデジット９」は、（７）の「チェックデジットの計算方法」を参照して下さい。

（2） カスタマバーコードを付番する住所データについて、次のＡとＢの部分に住所を２分割します。

住所A：町域名までの住所
住所B：町域名以降の住所

① 千葉市稲毛区緑町3丁目30−8　郵便ビル403号
└──住所A──┘└──────住所B──────┘

② 北海道札幌市東区北六条東4丁目　郵便センター6号館
└─────住所A─────┘└─────住所B─────┘

新郵便番号は、基本的に上記の住所Ａ（町域名までの住所）毎に設定されますが、②のように、丁目により新郵便番号が異なる地域もあります。

北海道札幌市東区北六条東(1～7丁目)　⇒　新郵便番号　060−0906
〃　(8～20丁目)⇒　〃　065−0006
└─────住所A─────┘

（3） 住所Ａ(町域名までの住所）と住所Ｂ（町域名以降の住所）とに２分割した住所データを用いて、新郵便番号を設定します。

ア. 住所Ａ（町域名までの住所）により新郵便番号が設定されている場合

① 千葉市稲毛区緑町3丁目30−8　郵便ビル403号
└──住所A──┘└──────住所B──────┘
⬇

新郵便番号	263−0023

イ. 住所Ａ(町域名までの住所）と住所Ｂ（町域名以降の住所）との組み合わせにより新郵便番号が設定されている場合

① 北海道札幌市東区北六条東4丁目　郵便センター6号館
└─────住所A─────┘└─────住所B─────┘
└──────住所A&住所B──────┘
⬇

新郵便番号	060−0906

② 北海道札幌市東区北六条東8丁目　郵便センター10号館
└─────住所A─────┘└─────住所B─────┘
└──────住所A&住所B──────┘
⬇

新郵便番号	065−0006

新郵便番号を設定する際に、代表の郵便番号（新郵便番号簿における‘以下に掲載がない場合’に該当する郵便番号）となった場合、カスタマバーコードは付番しません。代表の郵便番号は下記の例のように、新郵便番号の下２桁（６～７桁目）が原則として‘00’となります。

新郵便番号簿　草津市：以下に掲載がない場合　525−0000
和光市：以下に掲載がない場合　351−0100

（4） 住所B（町域名以降の住所）のデータから、カスタマバーコードとして必要な文字情報を抜き出します。

ア． 抜き出しの基本ルール

① まず、データ内にあるアルファベットの小文字は大文字に置き換えます。

② 同様に、データ内にある‘&’等の下記の文字は取り除き、後ろのデータを詰めます。

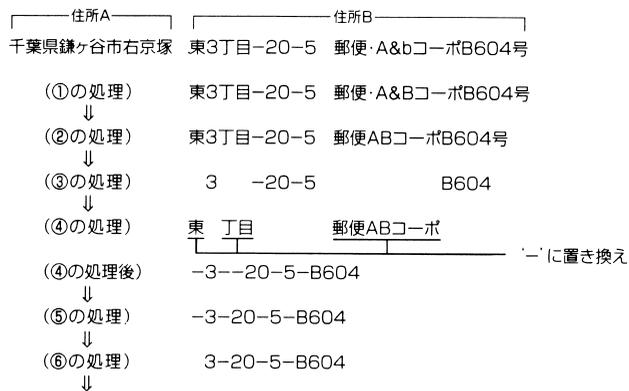
「&」（アンパサンド）、「／」（スラッシュ）、「・」（中グロ）、「．」（ピリオド）

③ ①および②で整理したデータから、算用数字、ハイフン及び連続していないアルファベット1文字を必要な文字情報として抜き出します。

④ 次に抜き出された文字の前にある下記の文字等は、ハイフン1文字に置き換えます。

「漢字」、「かな文字」、「カタカナ文字」、「漢数字」、「ブランク」、「2文字以上連続したアルファベット文字」

⑤ ④の置き換えで、ハイフンが連続する場合は1つにまとめます。

⑥ 最後に、先頭がハイフンの場合は取り除きます。

イ.　抜き出しの補足ルール

① 漢数字が下記の特定文字の前にある場合は抜き出し対象とし、算用数字に変換して抜き出します。

② 連続していないアルファベット１文字は抜き出し対象となりますが、算用数字に続くアルファベット１文字'F'に限っては抜き出し対象としません。

茨城県日立市宮田町6丁目7−14　ABCビル2F

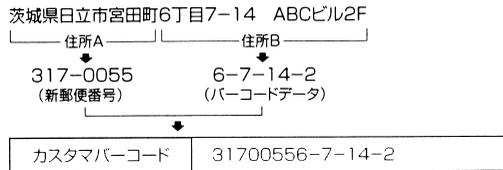
住所A　住所B

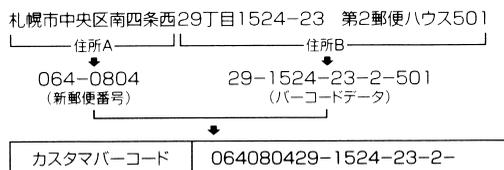
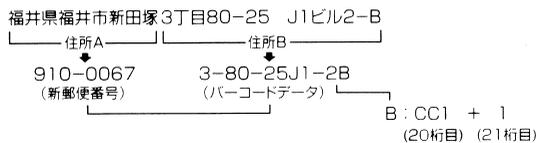
バーコード・データ	6-7-14-2

③ ②に記述したように、算用数字に続くアルファベット1文字'F'は抜き出し対象となりませんが、更に、'F'以降のデータに抜き出し対象となる文字がある場合、'F'はハイフン１文字に置き換えます。

④ 抜き出し後のバーコードデータについて、アルファベット文字の前後にあるハイフンは取り除きます。

⑤ ④の処理でアルファベット文字の前後にあるハイフンを取り除いた結果、２文字以上の連続したアルファベット文字が残った場合、取り除かないでそのままにします。

（５） 新郵便番号とバーコードデータを連結し、チェックデジットを計算する前のカスタマバーコードを生成します。
連結の際、新郵便番号の３～４桁目の間のハイフンは取り除きます。

（６） 生成したカスタマバーコード（チェックデジットは未計算）の合計桁数が20桁を越えた場合、以降の文字については切り捨てます。
その際、20～21桁目がアルファベット文字となった場合、20桁目の英字用制御コード（CC1、CC2、CC3）は残して以降は切り捨てます。
注．アルファベット文字の場合、英字用制御コードと数字の２桁でアルファベット１文字を表します。

① 20桁目が数字あるいはハイフンとなる場合

② 20～21桁目がアルファベット文字となる場合

（７） チェックデジットの計算方法

チェックデジットは、新郵便番号と住所表示番号の各バーコード用キャラクタをチェックデジット計算対応表（下図）からチェック用数字に置き換え、その合計が１９の倍数となるように生成します。

【チェックデジット計算対応表】

バーコード用キャラクタ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
チェック用数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

バーコード用キャラクタ	－	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
チェック用数字	10	11	12	13	14	15	16	17	18

〔チェックデジットの生成例〕

住所：東京都千代田区霞が関1丁目3番2号　郵便プラザ503室

バーコード用キャラクタ(20)		CD
新郵便番号(7)	住所表示番号(13)	(1)
1000013	1－3－2－503　CC4 CC4 CC4 CC4	

※上図の【チェックデジット計算対応表】により、バーコード用キャラクタ：チェック用数字「9」に相当。

〔補 足〕 CD=チェック用数字が2けた（10～18）の場合は、次のように対応します。

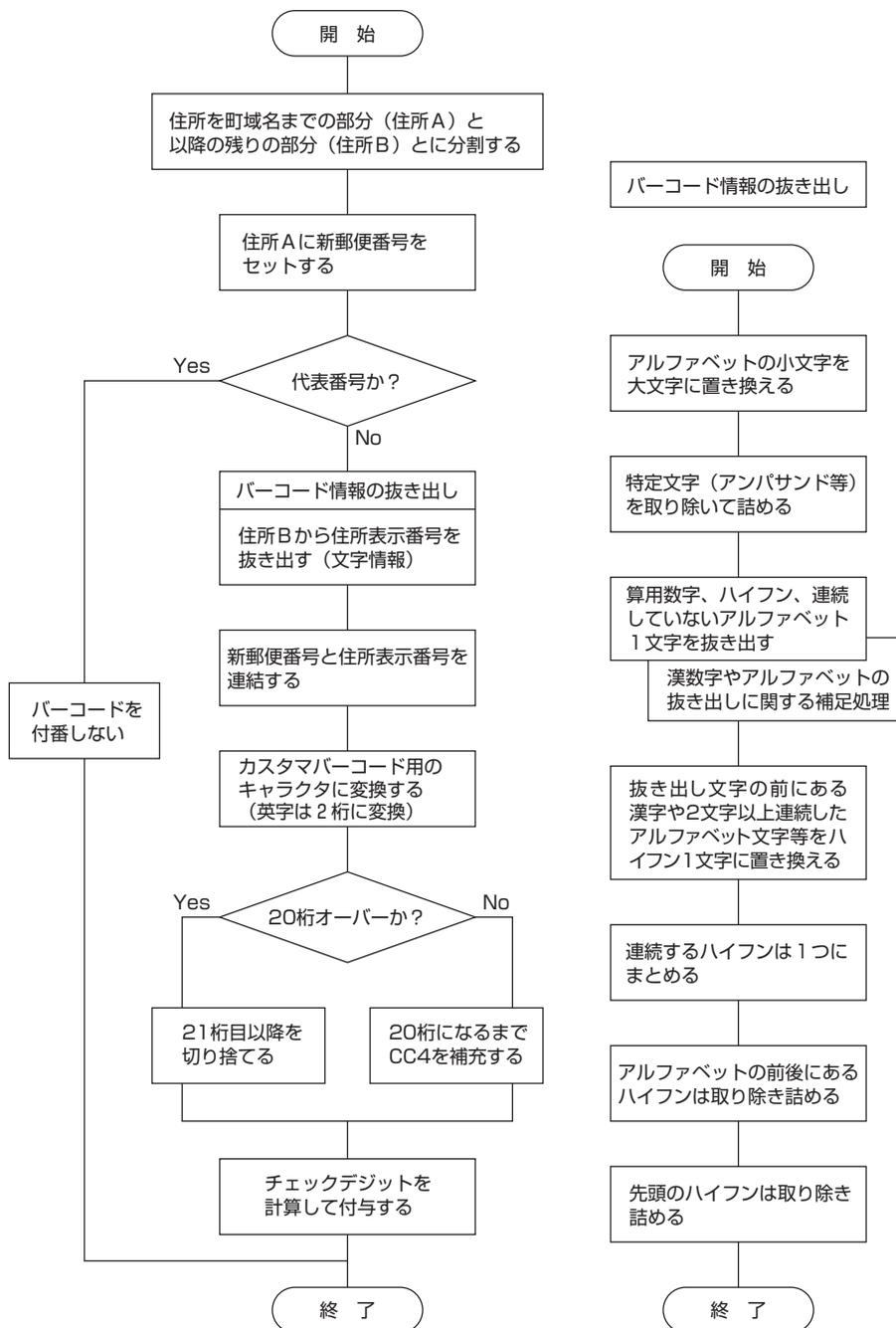
「10」の場合は、バーコード用キャラクタ＝「－」………………CD

↓

「18」の場合は、バーコード用キャラクタ＝「CC8」……………CD

〔バーコードの印字例〕 ※カスタマバーコードの体系は、6項「バーコード」の(3)を参照してください。

※カスタマバーコードの体系は、「カスタマバーコードの仕様」を参照してください。

カスタマバーコード生成フローチャート

カスタマバーコード付番事例（検証用）

以下に記載した住所及び文字列は、住所情報からカスタマバーコード作成に必要な文字情報の抜き出しが正しいかどうかを検証するためのチェックシートです。各項の住所情報がその下段の文字列に変換されていれば、その変換ソフトのロジックに問題はありません。

千葉市稲毛区緑町3丁目30－8　郵便ビル403号 STC 26300233－30－8－403 CC4 CC4 CC4 5 SPC
秋田県仙北郡仙北町堀見内　南田茂木　添60－1 STC 014011360－1 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC8 SPC
東京都台東区台東5－6－3　ABCビル10F STC 11000165－6－3－10 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 9 SPC
北海道札幌市東区北六条東4丁目　郵便センター6号館 STC 06009064－6 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 9 SPC
北海道札幌市東区北六条東8丁目　郵便センター10号館 STC 06500068－10 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 9 SPC
山梨県韮崎市龍岡町下條南割　韮崎400 STC 4070033400 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4－SPC
千葉県鎌ケ谷市右京塚　東3丁目20－5　郵便・A&bコーポB604号 STC 27301023－20－5 CC1 1 604 CC4 CC4 0 SPC
東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号　郵便タワー601 STC 198003611－6－1－601 CC4 CC4 CC4 CC8 SPC
岩手県宮古市大字津軽石第二十一地割大淵川480 STC 027020321－480 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC5 SPC
大阪府堺市中田出井町四丁目六番十九号 STC 59000164－6－19 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC2 SPC
北海道帯広市稲田町南七線　西28 STC 08008317－28 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC7 SPC
茨城県日立市宮田町6丁目7－14　ABCビル2F STC 31700556－7－14－2 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC1 SPC
神戸市中央区港島中町9丁目7－6　郵便シティA棟1F1号 STC 65000469－7－6 CC1 01－1 CC4 CC4 CC4 5 SPC
京都府綾部市青野町綾部6－7　Ｌプラザ B106 STC 62300116－7 CC2 1 CC1 1 106 CC4 CC4 CC4 4 SPC
神奈川県座間市入谷6丁目3454－5　郵便ハイツ6－1108 STC 22800246－3454－5－6－112 SPC
札幌市中央区南四条西29丁目1524－23　第2郵便ハウス501 STC 064080429－1524－23－2－3 SPC
福井県福井市新田塚3丁目80－25　J1ビル2－B STC 91000673－80－25 CC1 9 1－2 CC1 9 SPC

STC（スタートコード）　SPC（ストップコード）　CC1～CC8（英字用制御コード）

バーコードフォント　文字セット名称一覧

バーコードの種類	ドット幅	高さ	文字セット名称
JAN系	３ドット	７５ドット	J2060A. BAR J2060B. BAR J2060C. BAR J2060D. BAR
		１００ドット	J2080A. BAR J2080B. BAR J2080C. BAR J2080D. BAR
		１２５ドット	J2100A. BAR J2100B. BAR J2100C. BAR J2100D. BAR
	４ドット	７５ドット	J3060A. BAR J3060B. BAR J3060C. BAR J3060D. BAR
		１００ドット	J3080A. BAR J3080B. BAR J3080C. BAR J3080D. BAR
		１２５ドット	J3100A. BAR J3100B. BAR J3100C. BAR J3100D. BAR
	６ドット	７５ドット	J5060A. BAR J5060B. BAR J5060C. BAR J5060D. BAR
		１００ドット	J5080A. BAR J5080B. BAR J5080C. BAR J5080D. BAR
		１２５ドット	J5100A. BAR J5100B. BAR J5100C. BAR J5100D. BAR
	スケーラブルフォント		BARjan-A. BAR BARjan-B. BAR BARjan-C. BAR BARjan-D. BAR
CODE39	３ドット	７５ドット	C2060.BAR
		１００ドット	C2080.BAR
		１２５ドット	C2100.BAR
	４ドット	７５ドット	C3060.BAR
		１００ドット	C3080.BAR
		１２５ドット	C3100.BAR
	６ドット	７５ドット	C5060.BAR
		１００ドット	C5080.BAR
		１２５ドット	C5100.BAR
	スケーラブルフォント		BARcode39. BAR
NW-7	２ドット	７５ドット	C2060.BAR
		１００ドット	N2080.BAR
		１２５ドット	N2100.BAR
	４ドット	７５ドット	N3060.BAR
		１００ドット	N3080.BAR
		１２５ドット	N3100.BAR
	６ドット	７５ドット	N5060.BAR
		１００ドット	N5080.BAR
		１２５ドット	N5100.BAR
	スケーラブルフォント		BARnw7. BAR

カスタマバーコード	スケーラブルフォント	BARpostal. BAR

フォント仕様一覧

1.　　ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣバーコード、高さ60ドット用文字セット一覧

文字セット名称	フォントオリエンテーション	グラフィックセット番号（HEX）	文字ピッチ（CPI）	文字サイズ（ポイント）	書体	書体番号	ストロークウェイト	文字スタイル	セル幅×セル高（ドット）
J2060A.BAR	ポートレート	0F0B	PS	18.0	BARCODE	200	標準	直立体	24×75
J2060B.BAR	〃	〃	14.28	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J2060C.BAR	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J2060D.BAR	〃	〃	PS	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J3060A.BAR	ポートレート	0F0B	PS	18.0	BARCODE	200	標準	直立体	32×75
J3060B.BAR	〃	〃	10.71	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J3060C.BAR	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J3060D.BAR	〃	〃	PS	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J5060A.BAR	ポートレート	0F0B	PS	18.0	BARCODE	200	標準	直立体	48×75
J5060B.BAR	〃	〃	7.14	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J5060C.BAR	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J5060D.BAR	〃	〃	PS	〃	〃	〃	〃	〃	〃

2.　　ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣバーコード、高さ80ドット用文字セット一覧

文字セット名称	フォントオリエンテーション	グラフィックセット番号（HEX）	文字ピッチ（CPI）	文字サイズ（ポイント）	書体	書体番号	ストロークウェイト	文字スタイル	セル幅×セル高（ドット）
J2080A.BAR	ポートレート	0F0B	PS	24.0	BARCODE	200	標準	直立体	24×100
J2080B.BAR	〃	〃	14.28	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J2080C.BAR	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J2080D.BAR	〃	〃	PS	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J3080A.BAR	ポートレート	0F0B	PS	24.0	BARCODE	200	標準	直立体	32×100
J3080B.BAR	〃	〃	10.71	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J3080C.BAR	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J3080D.BAR	〃	〃	PS	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J5080A.BAR	ポートレート	0F0B	PS	24.0	BARCODE	200	標準	直立体	48×100
J5080B.BAR	〃	〃	7.14	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J5080C.BAR	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J5080D.BAR	〃	〃	PS	〃	〃	〃	〃	〃	〃

※PS＝プロポーショナル文字ピッチ

3.　ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣバーコード、高さ100ドット用文字セット一覧

文字セット名称	フォントオリエンテーション	グラフィックセット番号（HEX）	文字ピッチ（CPI）	文字サイズ（ポイント）	書体	書体番号	ストロークウエイト	文字スタイル	セル幅×セル高（ドット）
J2100A.BAR	ポートレート	0F0B	PS	30.0	BARCODE	200	標準	直立体	24×125
J2100B.BAR	〃	〃	14.28	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J2100C.BAR	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J2100D.BAR	〃	〃	PS	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J3100A.BAR	ポートレート	0F0B	PS	30.0	BARCODE	200	標準	直立体	32×125
J3100B.BAR	〃	〃	10.71	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J3100C.BAR	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J3100D.BAR	〃	〃	PS	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J5100A.BAR	ポートレート	0F0B	PS	30.0	BARCODE	200	標準	直立体	48×125
J5100B.BAR	〃	〃	7.14	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J5100C.BAR	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
J5100D.BAR	〃	〃	PS	〃	〃	〃	〃	〃	〃

4.　ＪＡＮ、ＥＡＮ、ＵＰＣバーコード、スケーラブルフォント用文字セット一覧

文字セット名称	フォントオリエンテーション	グラフィックセット番号（HEX）	文字ピッチ（CPI）	文字サイズ（ポイント）	書体	書体番号	ストロークウエイト	文字スタイル	セル幅×セル高（ドット）
BARjan-A.BAR	ポートレート	0F0B	PS	スケーラブル	BARCODE	200			
BARjan-B.BAR	〃	〃	固定	〃	〃	〃			
BARjan-C.BAR	〃	〃	固定	〃	〃	〃			
BARjan-D.BAR	〃	〃	PS	〃	〃	〃			

※PS＝プロポーショナル文字ピッチ

5.　ＣＯＤＥ３９バーコード用文字セット一覧

文字ｾｯﾄ名称	ﾌｫﾝﾄｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	ｸﾞﾗﾌｨｯｸｾｯﾄ番号（HEX）	文字ﾋﾟｯﾁ（CPI）	文字ｻｲｽﾞ（ﾎﾟｲﾝﾄ）	書体	書体番号	ｽﾄﾛｰｸｳｪｲﾄ	文字ｽﾀｲﾙ	ｾﾙ幅×ｾﾙ高（ﾄﾞｯﾄ）
C2060.BAR	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	0F0B	7.14	18.0	BARCODE	200	標準	直立体	40×75
C2080.BAR	〃	〃	〃	24.0	〃	〃	〃	〃	40×100
C2100.BAR	〃	〃	〃	30.0	〃	〃	〃	〃	40×125
C3060.BAR	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	0F0B	5.17	18.0	BARCODE	200	標準	直立体	60×75
C3080.BAR	〃	〃	〃	24.0	〃	〃	〃	〃	60×100
C3100.BAR	〃	〃	〃	30.0	〃	〃	〃	〃	60×125
C5060.BAR	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	0F0B	3.44	18.0	BARCODE	200	標準	直立体	88×75
C5080.BAR	〃	〃	〃	24.0	〃	〃	〃	〃	88×100
C5100.BAR	〃	〃	〃	30.0	〃	〃	〃	〃	88×125

6.　ＣＯＤＥ３９バーコード、スケーラブルフォント用文字セット一覧

文字ｾｯﾄ名称	ﾌｫﾝﾄｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	ｸﾞﾗﾌｨｯｸｾｯﾄ番号（HEX）	文字ﾋﾟｯﾁ（CPI）	文字ｻｲｽﾞ（ﾎﾟｲﾝﾄ）	書体	書体番号	ｽﾄﾛｰｸｳｪｲﾄ	文字ｽﾀｲﾙ	ｾﾙ幅×ｾﾙ高（ﾄﾞｯﾄ）
BARcode39.BAR	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	0F0B	固定	ｽｹｰﾗﾌﾞﾙ	BARCODE	200			

7.　ＮＷ－７バーコード用文字セット一覧

文字ｾｯﾄ名称	ﾌｫﾝﾄｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	ｸﾞﾗﾌｨｯｸｾｯﾄ番号（HEX）	文字ﾋﾟｯﾁ（CPI）	文字ｻｲｽﾞ（ﾎﾟｲﾝﾄ）	書体	書体番号	ｽﾄﾛｰｸｳｪｲﾄ	文字ｽﾀｲﾙ	ｾﾙ幅×ｾﾙ高（ﾄﾞｯﾄ）
N2060.BAR	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	0F0B	PS	18.0	BARCODE	200	標準	直立体	32×75
N2080.BAR	〃	〃	〃	24.0	〃	〃	〃	〃	32×100
N2100.BAR	〃	〃	〃	30.0	〃	〃	〃	〃	32×125
N3060.BAR	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	0F0B	PS	18.0	BARCODE	200	標準	直立体	48×75
N3080.BAR	〃	〃	〃	24.0	〃	〃	〃	〃	48×100
N3100.BAR	〃	〃	〃	30.0	〃	〃	〃	〃	48×125
N5060.BAR	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	0F0B	PS	18.0	BARCODE	200	標準	直立体	88×75
N5080.BAR	〃	〃	〃	24.0	〃	〃	〃	〃	88×100
N5100.BAR	〃	〃	〃	30.0	〃	〃	〃	〃	88×125

8.　ＮＷ－７バーコード、スケーラブルフォント用文字セット一覧

文字ｾｯﾄ名称	ﾌｫﾝﾄｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	ｸﾞﾗﾌｨｯｸｾｯﾄ番号（HEX）	文字ﾋﾟｯﾁ（CPI）	文字ｻｲｽﾞ（ﾎﾟｲﾝﾄ）	書体	書体番号	ｽﾄﾛｰｸｳｪｲﾄ	文字ｽﾀｲﾙ	ｾﾙ幅×ｾﾙ高（ﾄﾞｯﾄ）
BARnw7.BAR	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	0F0B	PS	ｽｹｰﾗﾌﾞﾙ	BARCODE	200			

※PS＝プロポーショナル文字ピッチ

9.　カスタマバーコードスケーラブルフォント用文字フォント一覧

文字ｾｯﾄ名称	ﾌｫﾝﾄｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	ｸﾞﾗﾌｨｯｸｾｯﾄ番号（HEX）	文字ﾋﾟｯﾁ（CPI）	文字ｻｲｽﾞ（ﾎﾟｲﾝﾄ）	書体	書体番号	ｽﾄﾛｰｸｳｪｲﾄ	文字ｽﾀｲﾙ	ｾﾙ幅×ｾﾙ高（ﾄﾞｯﾄ）
BARpostal.BAR	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	0F0B	固定	ｽｹｰﾗﾌﾞﾙ	BARCODE	200			

10.　カスタマバーコードフォントコード表一覧

	0	1	2	3	4	5	6	7
0								
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
A								
B								
C								
D								
E								
F								

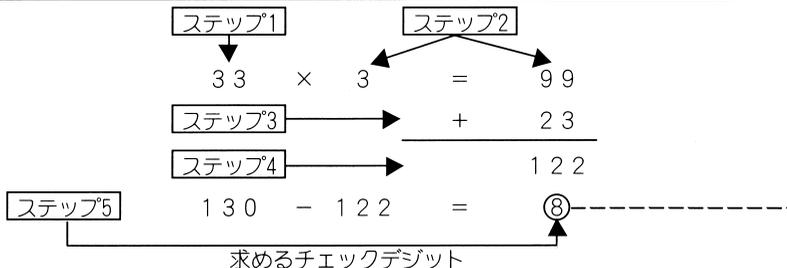
ＪＡＮコードチェックデジット計算方法

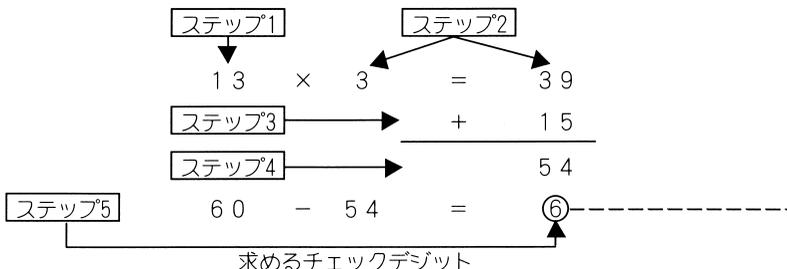
各キャラクタはその位置に従い、右側から左方向に順次番号付けする（チェックデジットが１番目）。

ステップ１：　２番目のキャラクタから始めて、すべての偶数番キャラクタの値の和を取る。
ステップ２：　ステップ１の結果を３倍する。
ステップ３：　３番目のキャラクタから始めて、すべての奇数番キャラクタの値の和を取る。
ステップ４：　ステップ２とステップ３の和を取る。
ステップ５：　ステップ４で得た値よりも大きく、かつ最も近い１０の倍数を求める。
　　　　　　　その値とステップ４の値の差が求めるチェックデジットの数値となる。

例 1

標準タイプ	フラッグ		商品メーカーコード					商品アイテムコード					ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ
キャラクタ位置	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
コード例	4	9	7	6	2	2	1	3	5	7	4	6	⑧
偶数位置		9	+	6	+	2	+	3	+	7	+	6	
奇数位置	4	+	7	+	2	+	1	+	5	+	4		

ステップ1　ステップ2
３３　×　３　＝　９９
ステップ3 → ＋　２３
ステップ4 → １２２
ステップ5　１３０　－　１２２　＝　⑧
求めるチェックデジット

短縮タイプでは、キャラクタ位置を右詰めとして(キャラクタ位置1～13に“0”を入れて)計算する。

短縮タイプ	フラッグ		商品メーカーコード					商品アイテムコード					ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ
キャラクタ位置	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
コード例	0	0	0	0	0	4	9	1	2	7	4	5	⑥
偶数位置						4	+	1	+	7	+	5	
奇数位置							9	+	2	7	4		

注意：なお、ステップ４で得られた値が１０の倍数の場合は、求めるチェックデジットは０となります。

ＵＰＣ短縮バーコードチェックデジット計算方法

1．ＵＰＣ短縮コードをメーカーコード＋アイテムコードの６桁目によって表１の６通りの方法でＵＰＣ標準コードに変換します。
2．以下、ＪＡＮコードのチェックデジットの計算方法に従って、チェックデジットを求めます。

表１

ＵＰＣ短縮コード（Ｅバージョン）					ＵＰＣ標準コード（Ａバージョン）			
変換パターン	キャラクタシステムナンバー（1桁）	メーカーコード＋アイテムコード(6桁)	チェックデジット（1桁）		キャラクタシステムナンバー（1桁）	メーカーコード（５桁）	アイテムコード（５桁）	チェックデジット（1桁）
1	0	F_1 F_2 A_3 A_4 A_5 0	CD	→	0	F_1 F_2 0 0 0	0 0 F_3 F_4 F_5	CD
2	0	F_1 F_2 A_3 A_4 A_5 1	CD	→	0	F_1 F_2 1 0 0	0 0 F_3 F_4 F_5	CD
3	0	F_1 F_2 A_3 A_4 A_5 2	CD	→	0	F_1 F_2 2 0 0	0 0 F_3 F_4 F_5	CD
4	0	F_1 F_2 A_3 A_4 A_5 3	CD	→	0	F_1 F_2 F_3 0 0	0 0 0 F_4 F_5	CD
5	0	F_1 F_2 A_3 A_4 A_5 4	CD	→	0	F_1 F_2 F_3 F_4 0	0 0 0 0 F_5	CD
6	0	F_1 F_2 A_3 A_4 A_5 A_5※	CD	→	0	F_1 F_2 F_3 F_4 F_5	0 0 0 0 F_5	CD

※A_5＝ ５～９

ＵＰＣ短縮コード　　　０１２３４５６　ＣＤの場合
ＵＰＣ標準コード　　　０１２３４５０００６　ＣＤに変換
（表１のパターン６の変換）

以下、ＪＡＮコードの計算方法により

ステップ１　　０＋２＋４＋０＋０＋６＝１２
ステップ２　　１２×３＝３６
ステップ３　　１＋３＋５＋０＋０＝９
ステップ４　　３６＋９＝４５
ステップ５　　５０－４５＝５
ＣＤ＝５　　になります。